

## 3-2 将来の意向

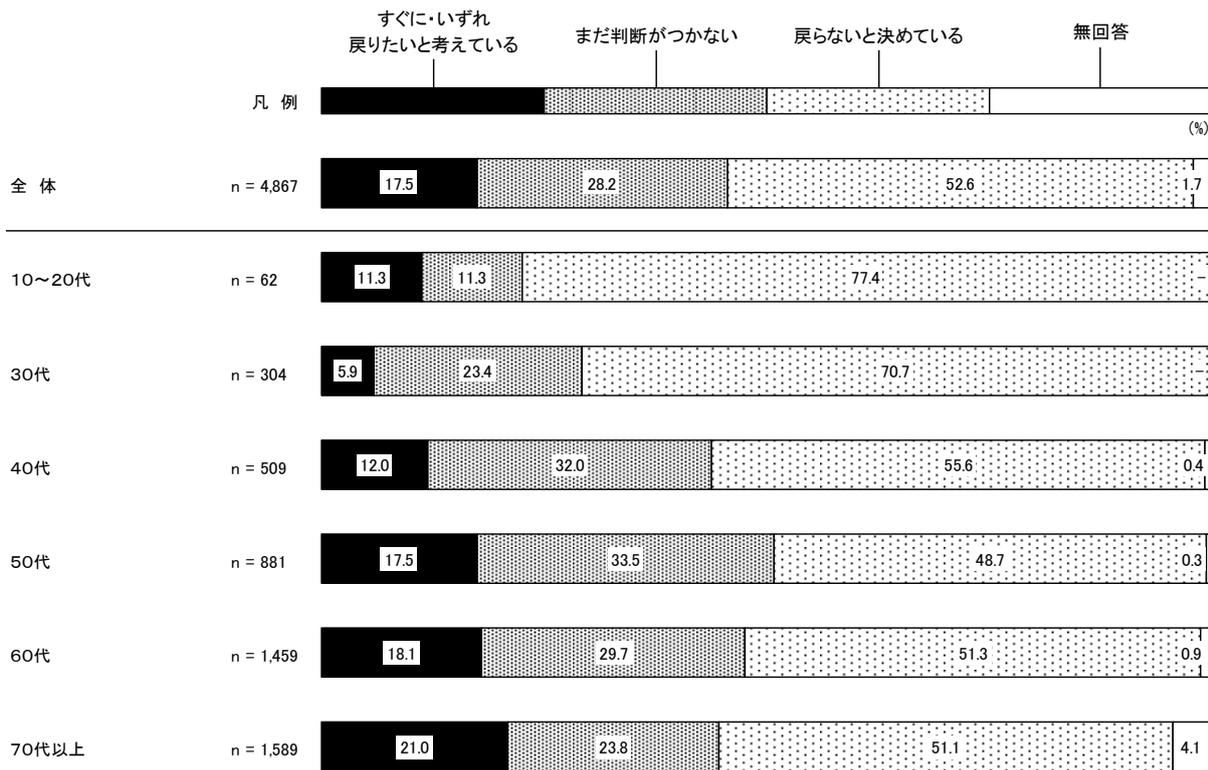
### 3-2-1 浪江町への帰還意向

問9 将来、浪江町の避難指示が解除された後の浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。  
 「1」から「3」の中から一つ選び、それぞれの質問にお答えください。（現在一緒にお住まいの家族の一部だけでも戻りたいと考えている場合は「1」を選んでください）（〇は1つ）

将来、浪江町の避難指示が解除された後の帰還意向については、「戻らないと決めている」が52.6%と最も高く、次いで、「まだ判断がつかない」が28.2%、「すぐに・いずれ戻りたいと考えている」が17.5%となっている。

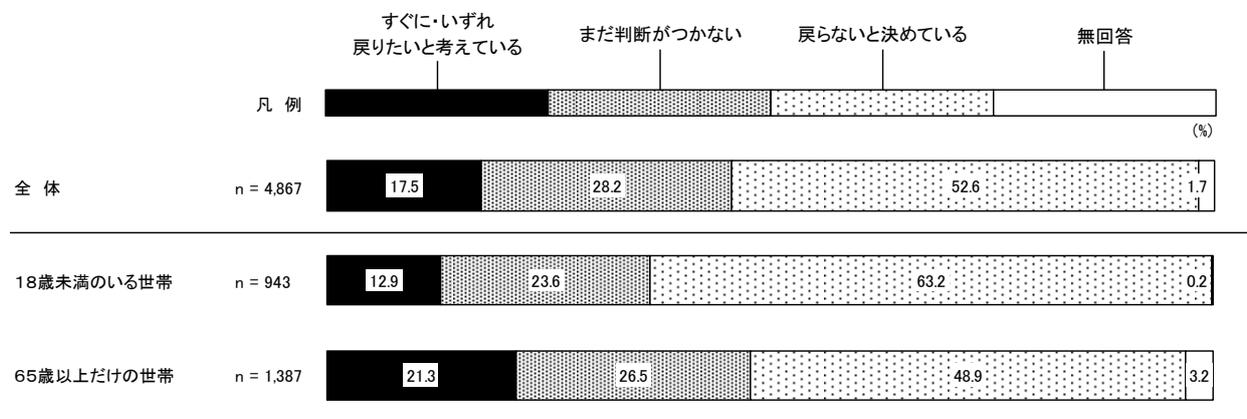
回答者の年齢別にみると、「すぐに・いずれ戻りたいと考えている」は、概ね年齢が高くなるにつれ割合が高くなっており、70代以上では21.0%となっている。一方、「戻らないと決めている」は、10~20代では77.4%、30代では70.7%と7割を超えており、他の年齢に比べ高くなっている。

<図表3-2-1-1 浪江町への帰還意向（年齢別）>



世帯構成別にみると、「すぐに・いずれ戻りたいと考えている」は、65歳以上だけの世帯で21.3%と高くなっている。一方、「戻らないと決めている」は、18歳未満のいる世帯で63.2%と6割を超えており、高くなっている。

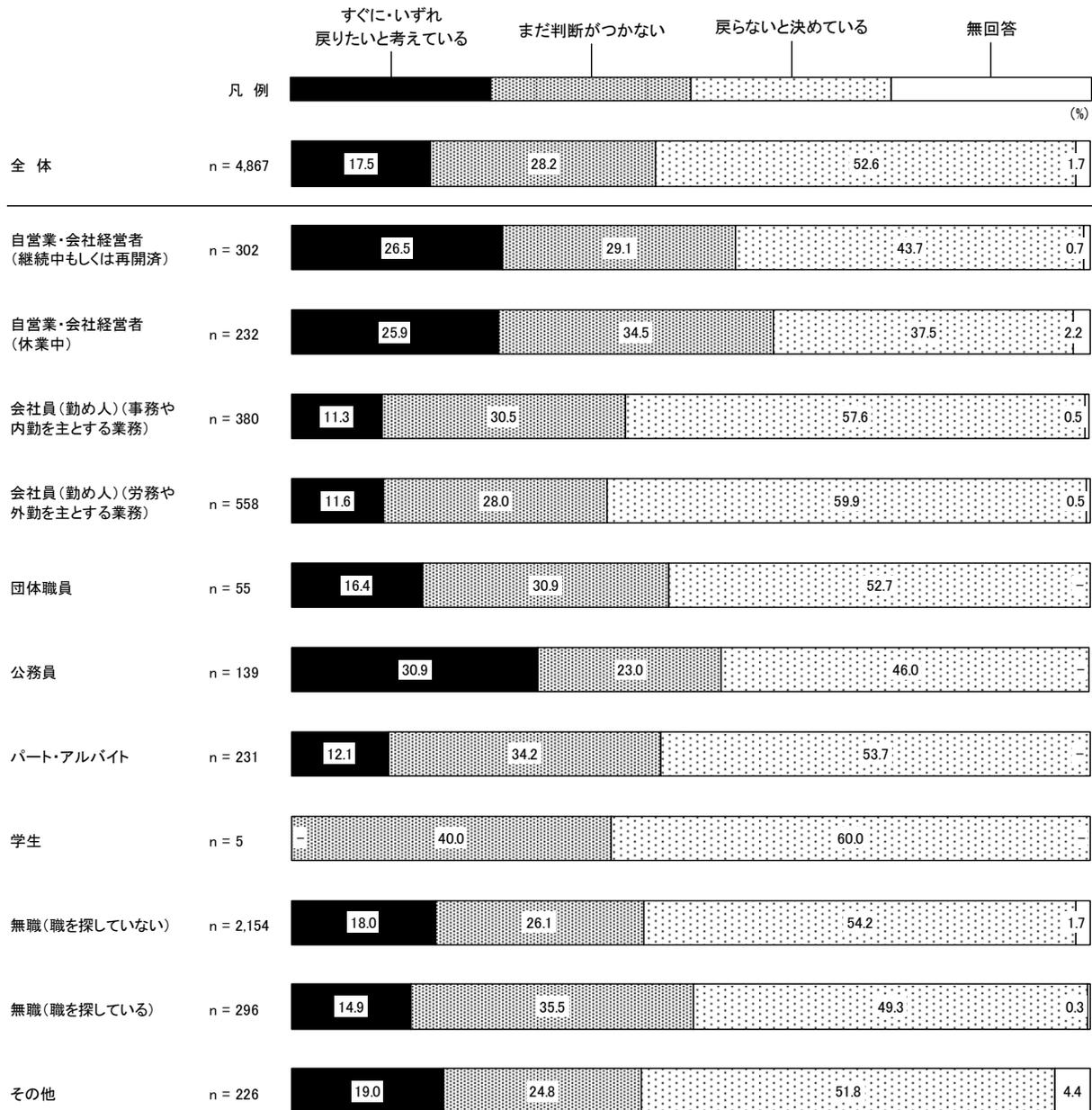
<図表3-2-1-2 浪江町への帰還意向（世帯構成別）>



### III 調査結果

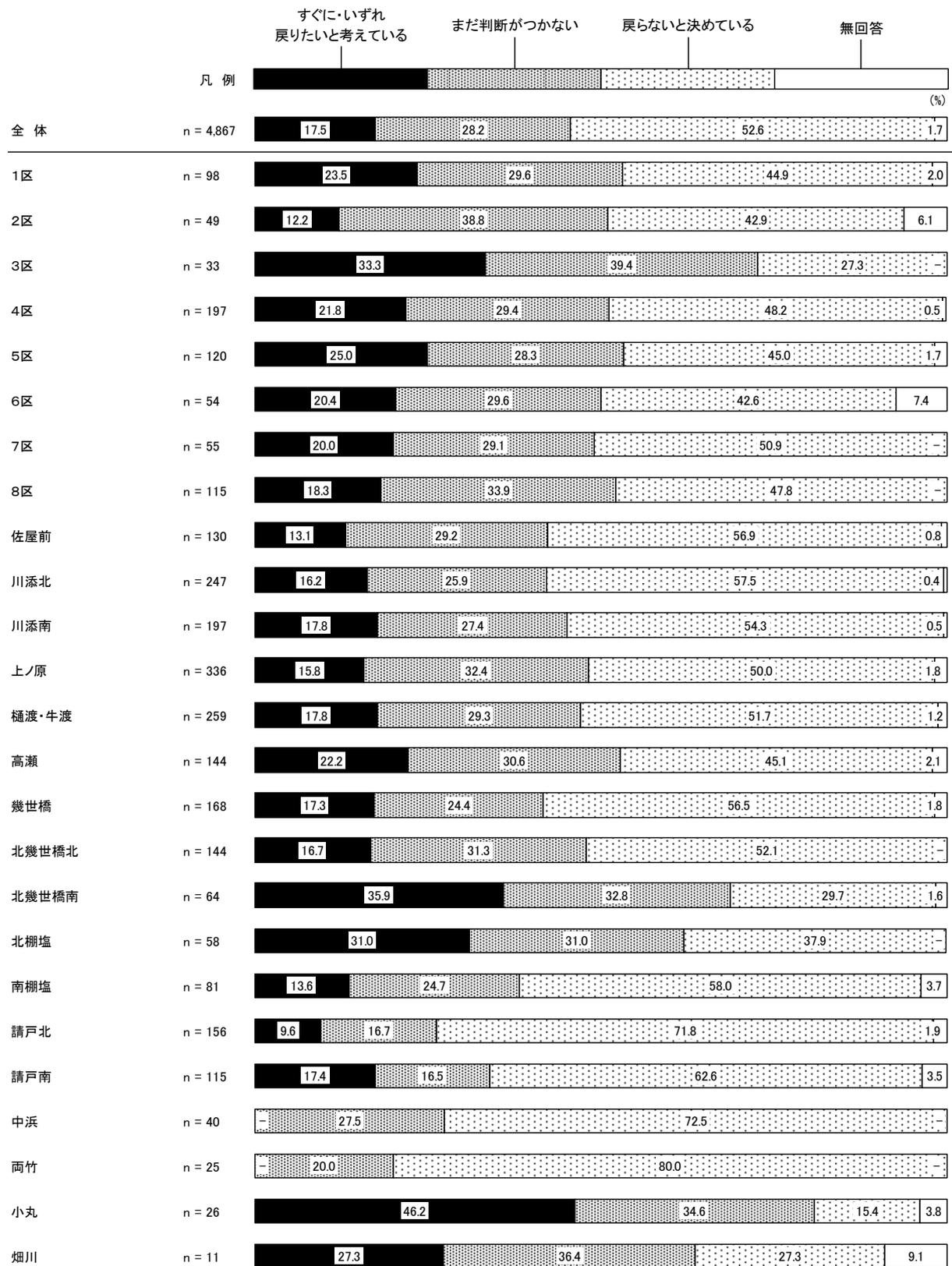
職業別にみると、「すぐに・いずれ戻りたいと考えている」は、公務員が30.9%と最も高く、次いで、自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）が26.5%、自営業・会社経営者（休業中）が25.9%となっている。一方、「戻らないと決めている」は会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）（59.9%）、会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）（57.6%）で高くなっている。

<図表3-2-1-3 浪江町への帰還意向（職業別）>

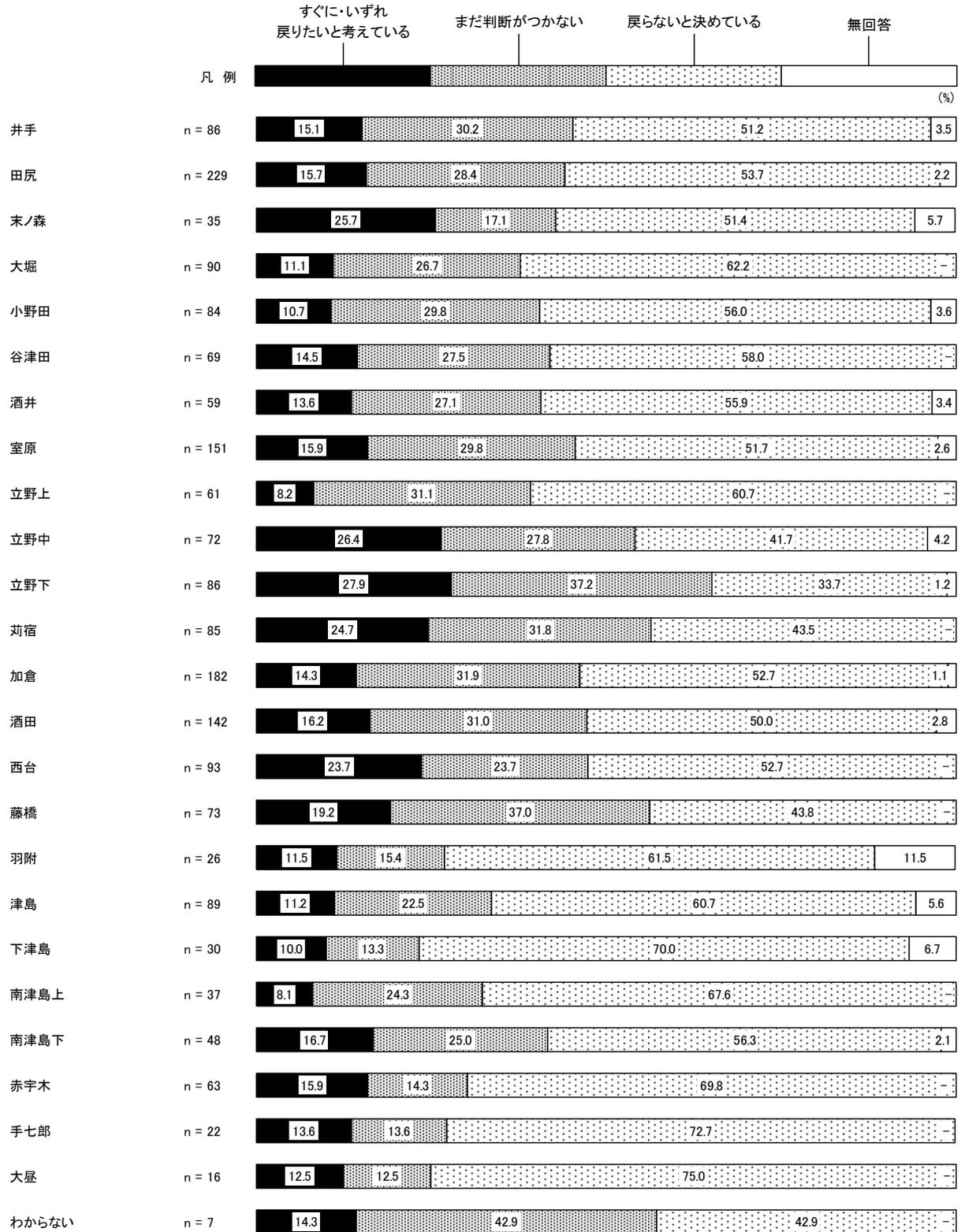


震災発生当時の住まいの行政区別にみると、「すぐに・いずれ戻りたいと考えている」は、小丸（46.2%）、北幾世橋南（35.9%）、3区（33.3%）、北棚塩（31.0%）で3割強から4割強と高くなっている。

＜図表3-2-1-4 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）＞

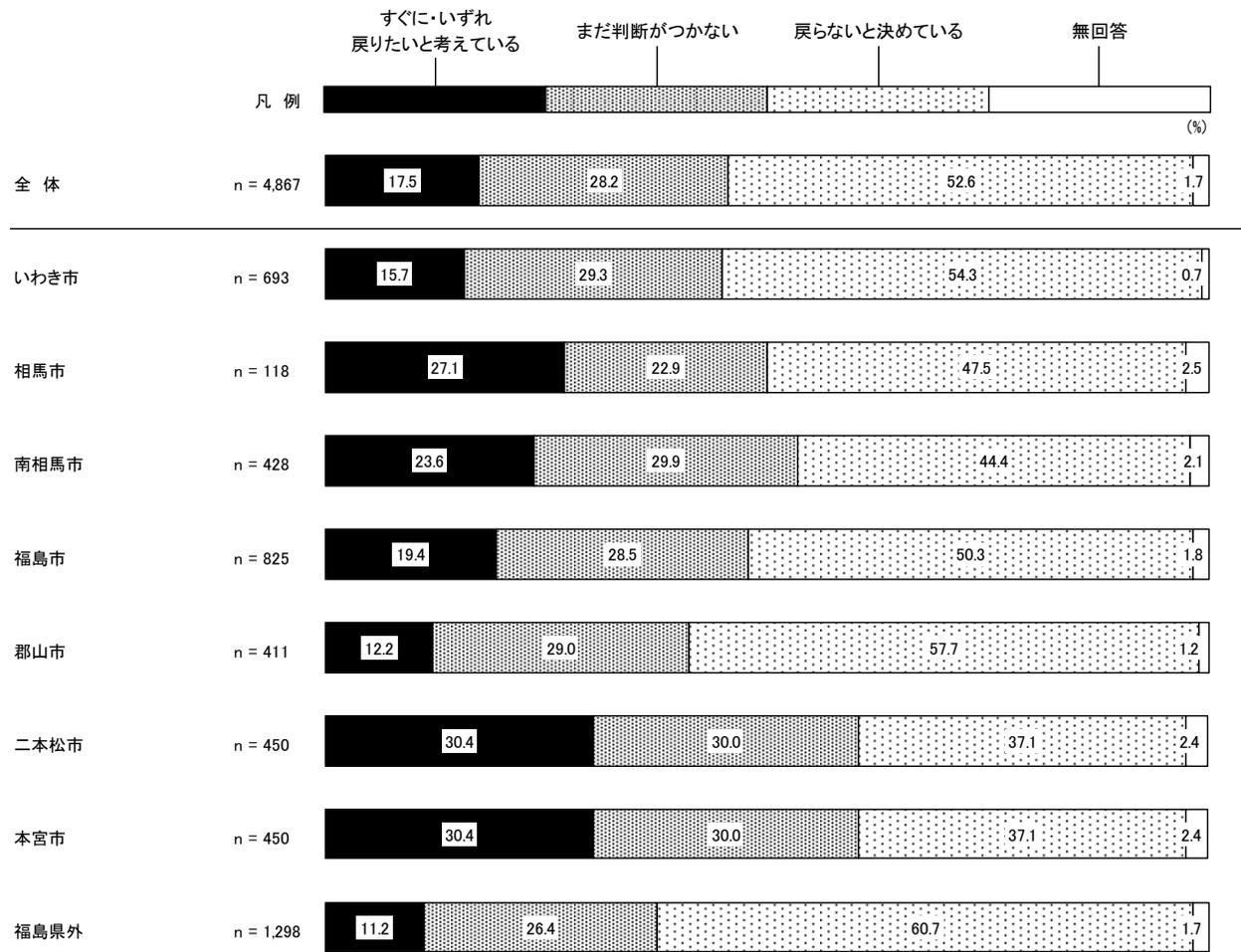


<図表3-2-1-4 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）続き>



主な避難先自治体別にみると、「すぐに・いずれ戻りたいと考えている」は、二本松市、本宮市では 30.4%、相馬市では 27.1%となっており、他の避難先自治体に比べやや高くなっている。

<図表3-2-1-5 浪江町への帰還意向（主な避難先自治体別）>



### 3-2-2 浪江町への帰還時期

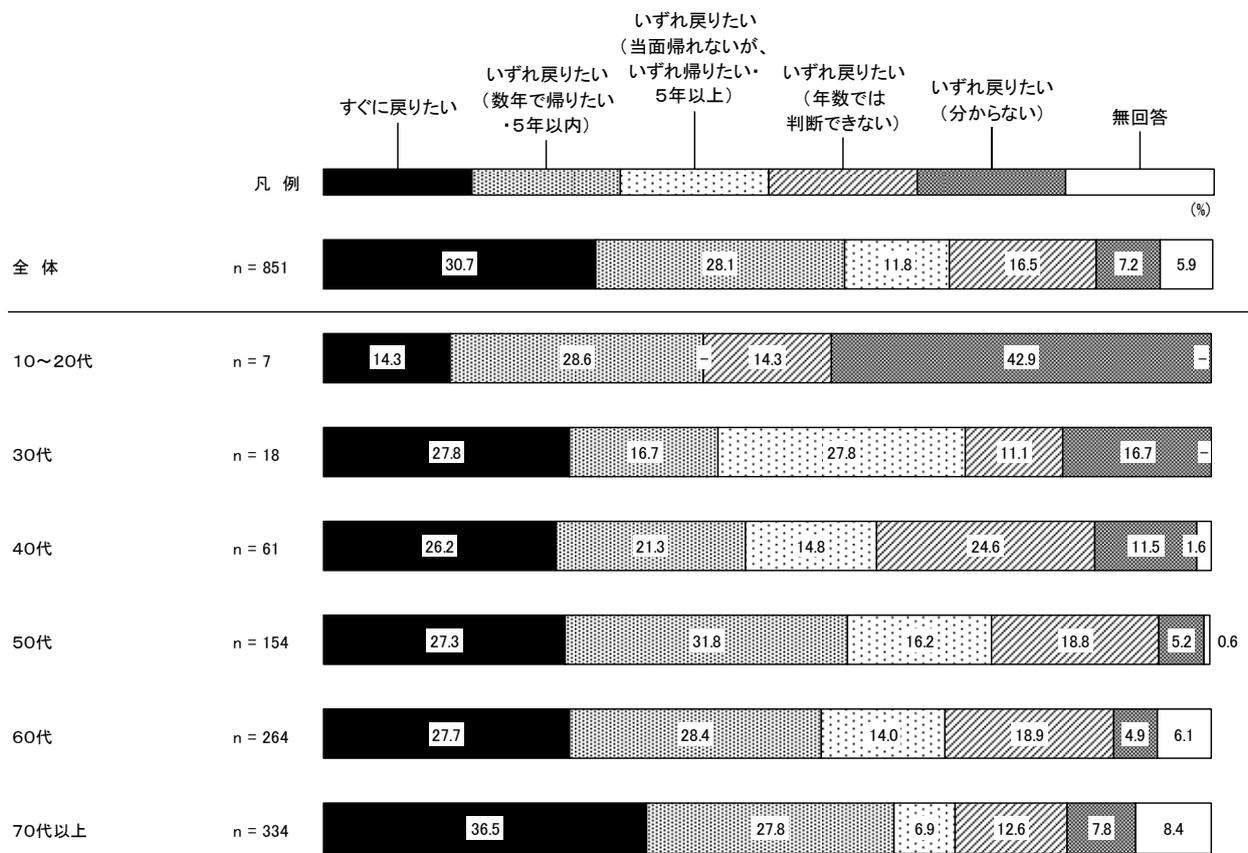
【問9で「1.すぐに・いずれ戻りたい」と回答した方にうかがいます。】

問9-6 浪江町へ戻る時期を教えてください。(〇は1つ)

浪江町への帰還時期については、「すぐに戻りたい」が30.7%と最も高く、次いで「いずれ戻りたい(数年で戻りたい・5年以内)」が28.1%、「いずれ戻りたい(年数では判断できない)」が16.5%となっている。

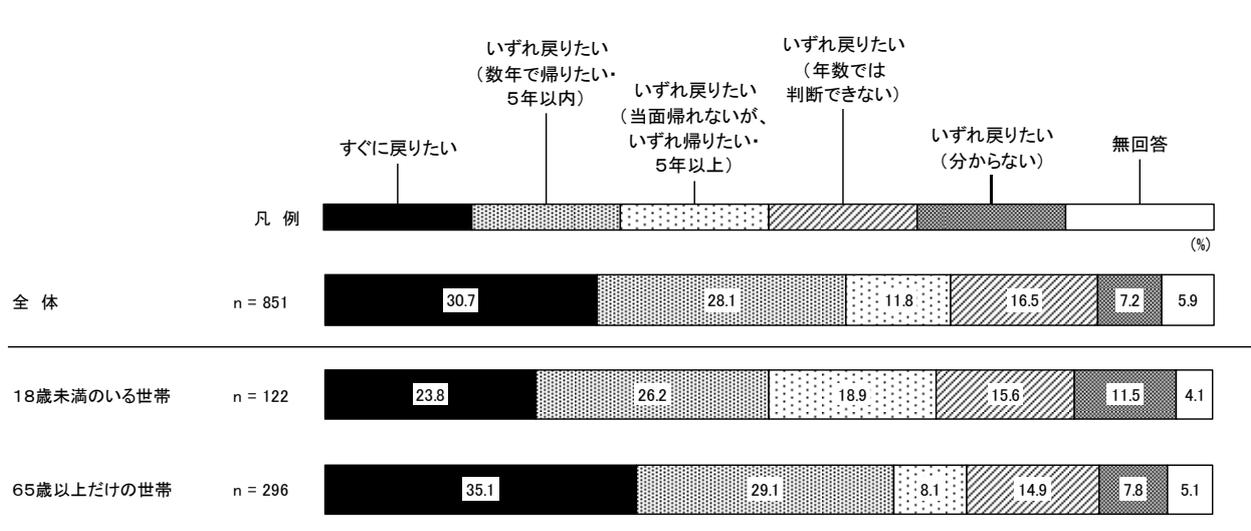
回答者の年齢別にみると、「すぐに戻りたい」は70代以上で36.5%と、他の年齢に比べ高くなっている。

<図表3-2-2-1 浪江町への帰還時期(年齢別)>



世帯構成別にみると、「すぐに戻りたい」は65歳以上だけの世帯が35.1%と高くなっている。

<図表3-2-2-2 浪江町への帰還時期（世帯構成別）>



### 3-2-3 浪江町へ戻る場合の家族

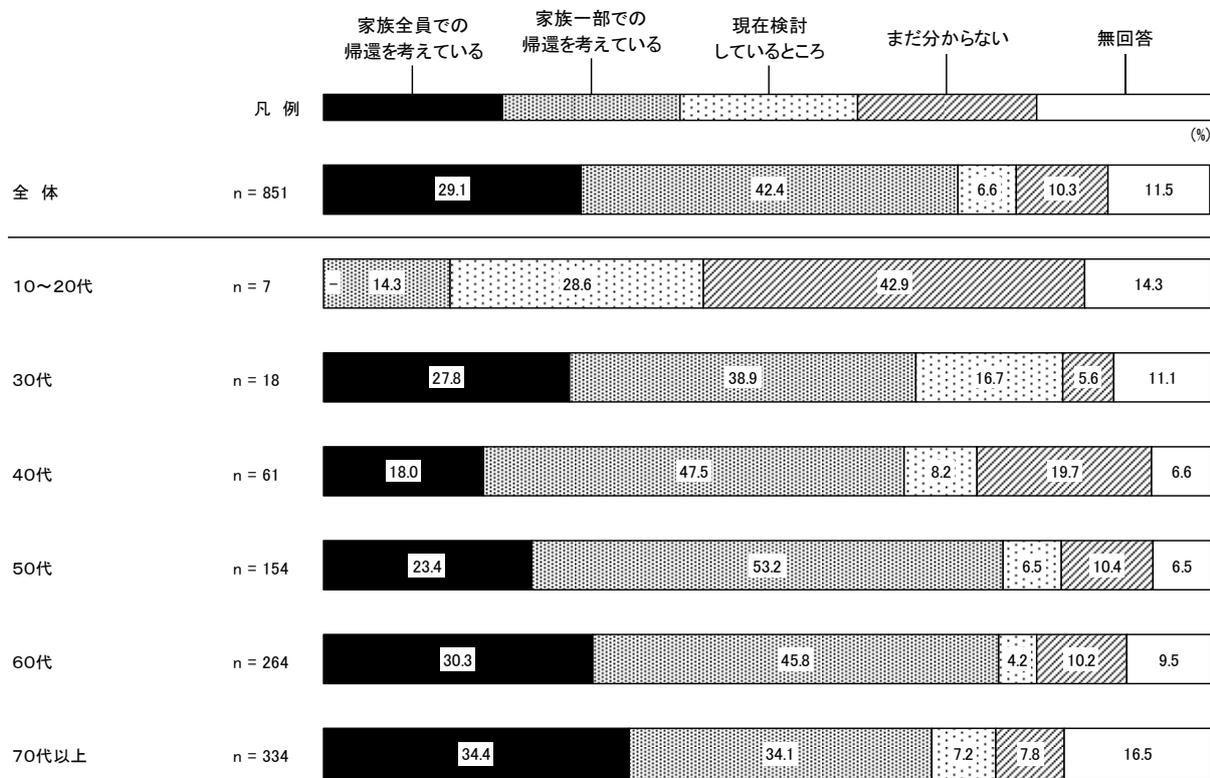
【問9で「1.すぐに・いずれ戻りたい」と回答した方にうかがいます。】

問9-2 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(〇は1つ)

浪江町へ戻る場合の家族については、「家族一部での帰還を考えている」が42.4%と最も高く、次いで「家族全員での帰還を考えている」が29.1%、「現在検討しているところ」と「まだ分からない」が合わせて16.9%となっている。

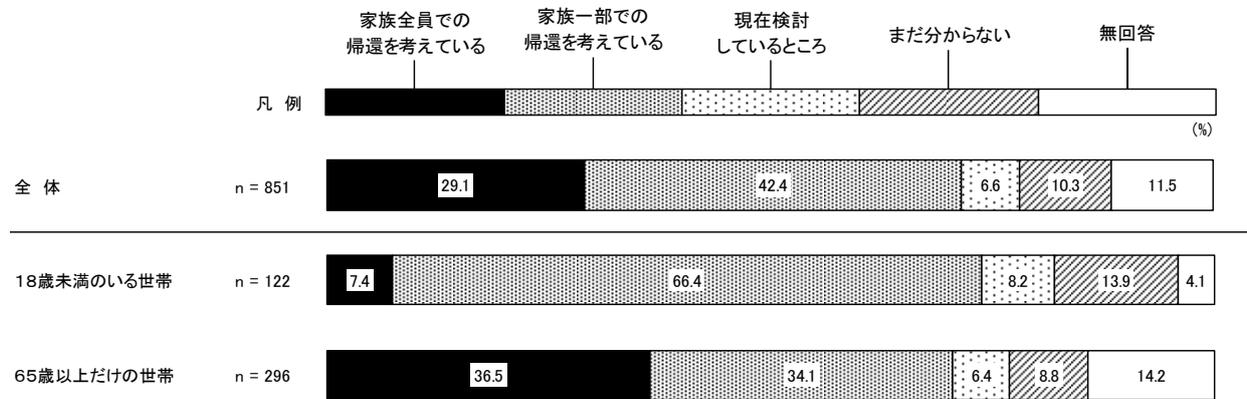
回答者の年齢別にみると、「家族全員での帰還を考えている」は、70代以上が34.4%と高くなっている。「家族一部での帰還を考えている」は50代が53.2%と5割を超えている。

<図表3-2-3-1 浪江町へ戻る場合の家族（年齢別）>



世帯構成別にみると、「家族全員での帰還を考えている」は、65歳以上だけの世帯が36.5%を占めるが、18歳未満のいる世帯では7.4%と1割以下にとどまる。一方、「家族一部での帰還を考えている」は18歳未満のいる世帯で66.4%と高くなっている。

<図表3-2-3-2 浪江町へ戻る場合の家族（世帯構成別）>



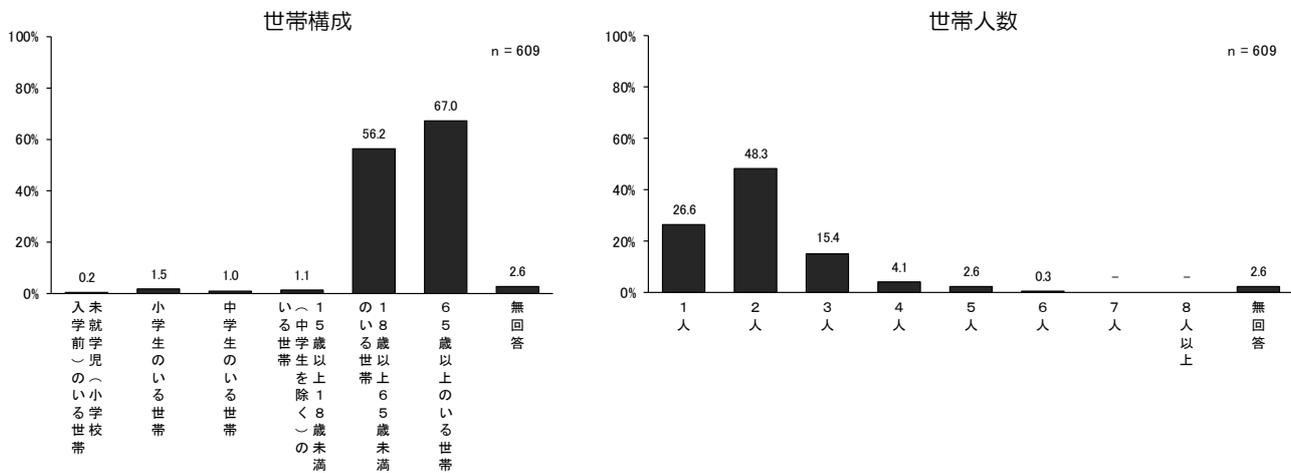
### 3-2-4 浪江町へ戻る場合の世帯構成・人数

【問9-2で「1.家族全員での帰還を考えている」「2. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にうかがいます。】

問9-3 戻る予定の家族の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

浪江町へ戻る場合の世帯構成については、「65歳以上のいる世帯」(67.0%)、「18歳以上65歳未満のいる世帯」(56.2%)が6割前後と高く、「未就学児のいる世帯」、「小学生のいる世帯」、「中学生のいる世帯」、「15歳以上18歳未満のいる世帯」は1%前後とほとんどいない。世帯人数については、「2人」が48.3%と最も高く、次いで「1人」が26.6%、「3人」が15.4%となっている。

<図表3-2-4-1 浪江町へ戻る場合の世帯構成・人数>



### 3-2-5 浪江町に帰還する場合に希望する職業

#### (1) 職業（就業形態）

【問9で「1.すぐに・いすれ戻りたい」「2.まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

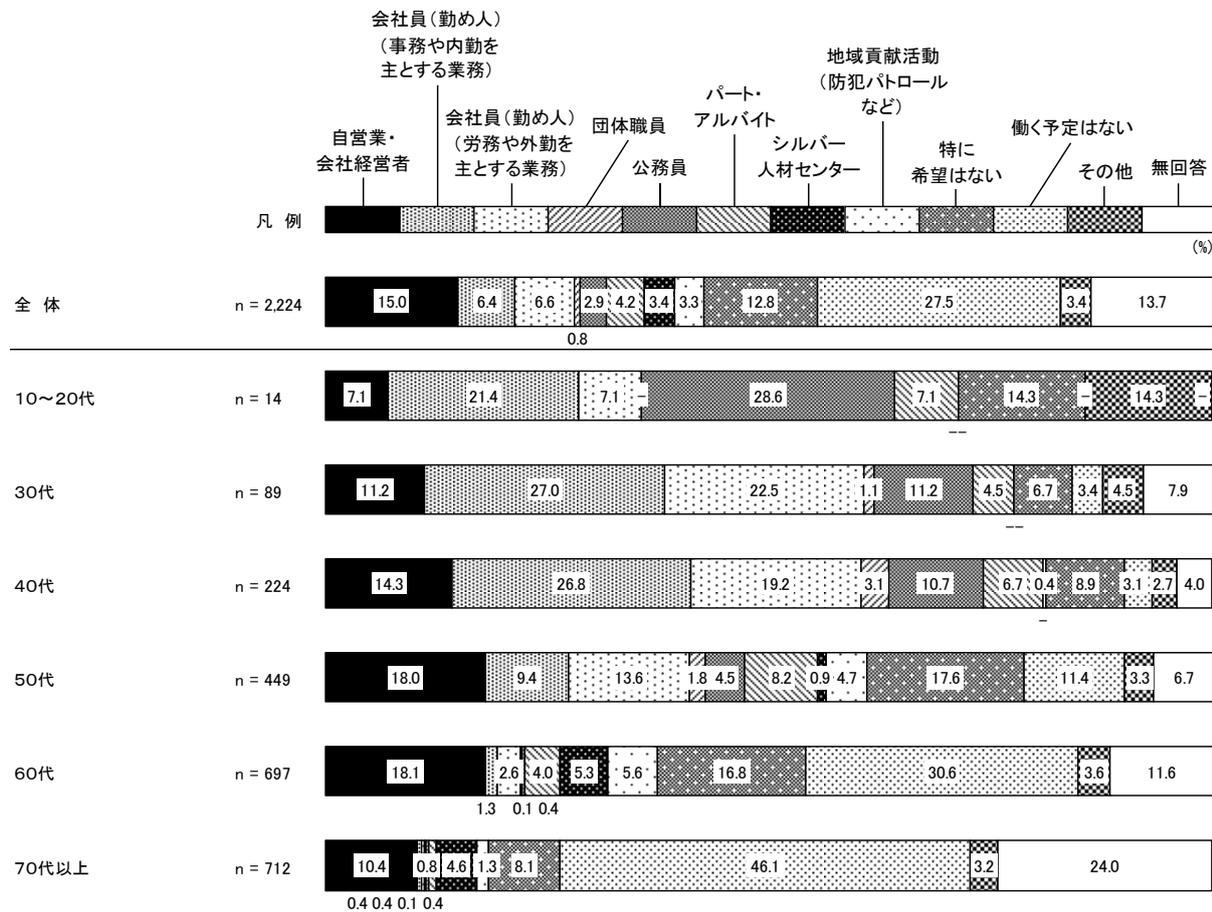
問9-1 あなたが浪江町に戻る場合に希望する職種を教えてください。

(1) 職業（就業形態）(〇は1つ)

浪江町へ帰還する場合に希望する職業（就業形態）については、「自営業・会社経営者」が15.0%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が6.6%、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が6.4%となっている。また、「特に希望はない」は12.8%、「働く予定はない」は27.5%となっている。

回答者の年齢別にみると、「自営業・会社経営者」は、60代（18.1%）、50代（18.0%）、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」は、30代（27.0%）、40代（26.8%）、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」は、30代（22.5%）、40代（19.2%）が他の年齢に比べ高くなっている。

<図表3-2-5-1 浪江町に帰還する場合に希望する職業（年齢別）>



(2) 業種

【問9で「1.すぐに・いずれ戻りたい」「2.まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問9-1 あなたが浪江町に戻る場合に希望する職種を教えてください。

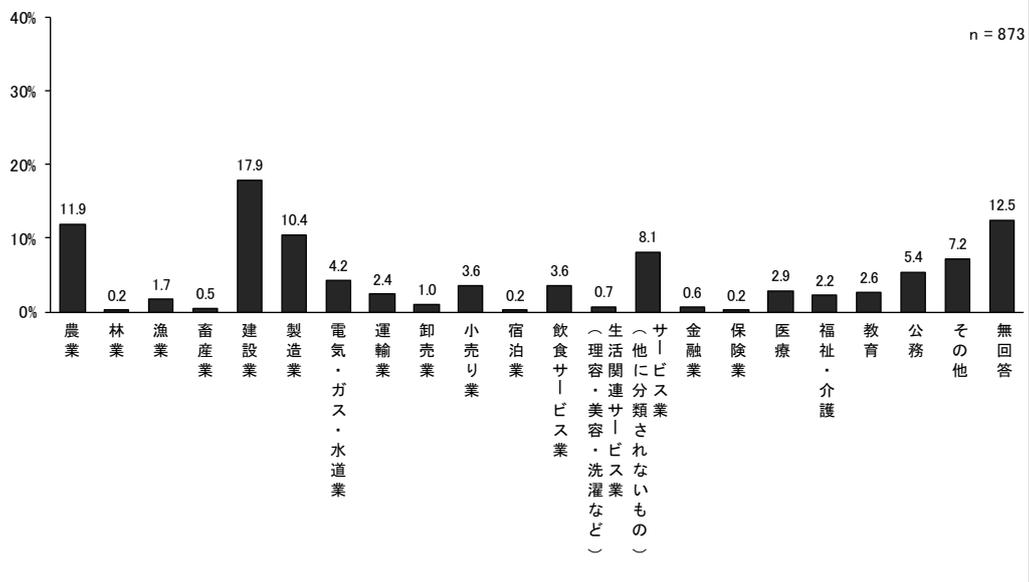
【問9-1(1)で「1」から「6」、「11」と回答した方にうかがいます。】

(2) 業種 (〇は1つ)

浪江町に帰還する場合に希望する業種については、「建設業」が17.9%と最も高く、次いで「農業」が11.9%、「製造業」が10.4%となっている。

回答者の年齢別にみると、「建設業」は、60代(23.8%)、「農業」は、60代(19.5%)、70代以上(30.1%)が他の年齢に比べ高くなっている。

<図表3-2-5-2 浪江町に帰還する場合に希望する業種>



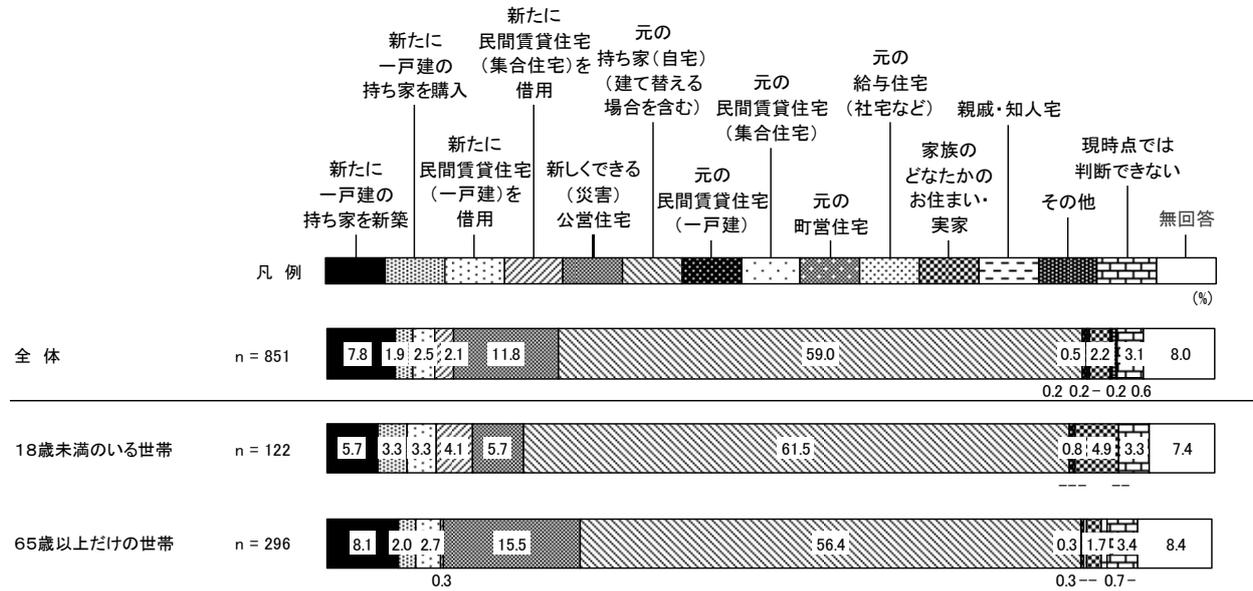
<図表3-2-5-3 浪江町に帰還する場合に希望する業種(年齢別)>

	n	農業	林業	漁業	畜産業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸業	卸売業	小売り業	宿泊業	飲食サービス業	生活関連サービス業(美容・洗濯など)	サービス業(他に分類されないもの)	金融業	保険業	医療	福祉・介護	教育	公務	その他	無回答
全体	873	11.9	0.2	1.7	0.5	17.9	10.4	4.2	2.4	1.0	3.6	0.2	3.6	0.7	8.1	0.6	0.2	2.9	2.2	2.6	5.4	7.2	12.5
10~20代	12	8.3	-	-	-	-	25.0	8.3	-	-	-	-	-	8.3	-	-	-	8.3	-	-	33.3	8.3	-
30代	73	-	-	1.4	-	19.2	13.7	9.6	1.4	-	1.4	-	2.7	-	6.8	-	-	9.6	6.8	2.7	8.2	5.5	11.0
40代	187	2.1	-	1.1	-	12.8	15.0	4.8	3.7	1.1	2.7	0.5	3.7	0.5	6.4	1.1	-	2.7	4.3	2.7	11.2	7.0	16.6
50代	264	7.6	0.4	2.3	-	18.2	12.9	4.2	3.4	0.4	3.8	0.4	1.9	0.4	11.7	1.1	0.4	2.7	1.1	4.5	4.5	8.0	10.2
60代	210	19.5	0.5	2.9	1.0	23.8	5.2	3.3	1.4	0.5	4.3	-	6.7	1.0	7.1	-	0.5	1.4	1.4	0.5	1.4	7.6	10.0
70代以上	113	30.1	-	-	-	15.0	3.5	0.9	0.9	4.4	4.4	-	1.8	1.8	7.1	-	-	0.9	-	1.8	0.9	6.2	18.6



世帯構成別にみても、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」はいずれの世帯構成でも最も高くなっている。

<図表3-2-6-2 浪江町へ帰還する場合の住居形態（世帯構成別）>



<図表3-2-6-3 浪江町へ帰還する場合の住居形態（震災発生当時の住まいの行政区別）>

		(%)														
	n	新たに 持ち家を 新築した 持ち家を 購入した	新たに 民間賃貸 住宅（一戸 建）を借 用した	新たに 民間賃貸 住宅（集 合住宅） を借用し た	新たに 民間賃貸 住宅（災 害）公営 住宅	新しく できる （災害） 公営住宅	元の持 ち家（自 宅） （建て 替える 場合を 含む）	元の民 間賃貸 住宅 （一戸 建）	元の民 間賃貸 住宅 （集 合住宅）	元の町 営住宅	元の給 与住宅 （社 宅など）	家族の どなた かの お住 まい・ 実家	親戚・ 知人宅	その他	現時 点で は判 断 でき ない	無 回 答
全 体	851	7.8	1.9	2.5	2.1	11.8	59.0	0.5	0.2	0.2	-	2.2	0.2	0.6	3.1	8.0
1区	23	-	-	4.3	-	13.0	60.9	-	-	-	-	8.7	-	-	8.7	4.3
2区	6	16.7	-	-	-	16.7	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3区	11	9.1	-	-	-	18.2	63.6	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1
4区	43	2.3	-	-	2.3	14.0	53.5	-	2.3	-	-	4.7	-	4.7	4.7	11.6
5区	30	3.3	-	-	3.3	3.3	70.0	-	-	-	-	-	-	-	6.7	13.3
6区	11	-	-	9.1	-	-	72.7	-	-	-	-	9.1	9.1	-	-	-
7区	11	-	-	9.1	-	18.2	54.5	9.1	-	-	-	-	-	-	-	9.1
8区	21	14.3	-	4.8	-	-	61.9	-	-	-	-	-	-	-	4.8	14.3
佐屋前	17	17.6	-	-	5.9	5.9	58.8	-	-	-	-	-	-	-	5.9	5.9
川添北	40	2.5	2.5	2.5	2.5	22.5	57.5	-	-	-	-	-	-	-	2.5	7.5
川添南	35	5.7	2.9	2.9	8.6	8.6	65.7	-	-	-	-	2.9	-	-	-	2.9
上ノ原	53	-	-	-	1.9	17.0	56.6	-	-	1.9	-	1.9	-	1.9	5.7	13.2
樋渡・牛渡	46	10.9	-	2.2	-	15.2	50.0	2.2	2.2	-	-	4.3	-	-	8.7	4.3
高瀬	32	3.1	-	-	-	6.3	78.1	3.1	-	-	-	6.3	-	-	3.1	-
幾世橋	29	17.2	-	-	6.9	13.8	51.7	-	-	-	-	-	-	-	6.9	3.4
北幾世橋北	24	8.3	-	-	-	-	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3
北幾世橋南	23	4.3	-	-	-	8.7	69.6	-	-	-	-	4.3	-	-	-	13.0
北柳塩	18	5.6	-	-	-	5.6	72.2	-	-	-	-	-	-	-	5.6	11.1
南柳塩	11	-	27.3	-	-	45.5	9.1	-	-	-	-	-	-	-	9.1	9.1
請戸北	15	20.0	13.3	20.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7
請戸南	20	10.0	5.0	15.0	5.0	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0
中浜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
両竹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小丸	12	8.3	8.3	16.7	-	-	41.7	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
畑川	3	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
井手	13	23.1	-	-	-	30.8	38.5	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7
田尻	36	16.7	2.8	2.8	2.8	5.6	61.1	-	-	-	-	2.8	-	2.8	-	2.8
末ノ森	9	-	-	-	-	11.1	66.7	-	-	-	-	-	-	11.1	-	11.1
大堀	10	10.0	-	20.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	10.0	-	10.0	-
小野田	9	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
谷津田	10	20.0	-	-	-	-	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0
酒井	8	-	12.5	-	-	12.5	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
室原	24	-	-	-	8.3	8.3	70.8	-	-	-	-	-	-	-	8.3	4.2
立野上	5	40.0	20.0	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-
立野中	19	5.3	5.3	-	-	10.5	63.2	-	-	-	-	5.3	-	-	-	10.5
立野下	24	12.5	-	-	4.2	4.2	70.8	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3
苅宿	21	19.0	4.8	-	4.8	4.8	57.1	-	-	-	-	-	-	-	4.8	4.8
加倉	26	7.7	3.8	-	3.8	11.5	50.0	-	-	-	-	7.7	-	-	3.8	11.5
酒田	23	-	4.3	-	-	4.3	73.9	-	-	4.3	-	-	-	-	-	13.0
西台	22	-	-	4.5	-	13.6	77.3	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5
藤橋	14	14.3	-	-	-	7.1	50.0	-	-	-	-	14.3	-	-	-	14.3
羽附	3	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
津島	10	20.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	10.0	-	-	-	20.0
下津島	3	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南津島上	3	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南津島下	8	12.5	-	12.5	-	12.5	37.5	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
赤宇木	10	-	-	10.0	10.0	-	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0
手七郎	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大屋	2	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
わからない	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

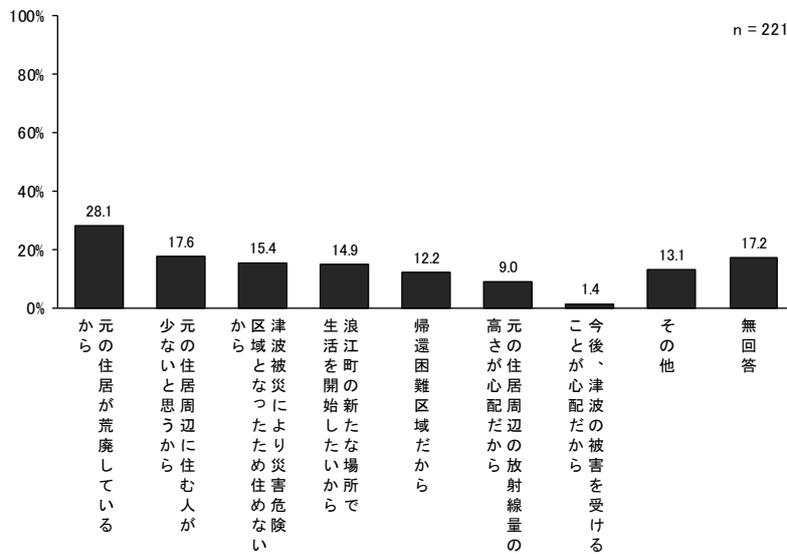
### 3-2-7 浪江町へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由

問9-4で「1」から「5」と回答した方にうかがいます。

問9-5 元の住居と違う場所を希望される理由は、何ですか。(〇はいくつでも)

浪江町へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由については、「元の住居が荒廃しているから」が28.1%と最も高く、次いで「元の住居周辺に住む人が少ないと思うから」が17.6%、「津波被災により災害危険区域となったため住めないから」が15.4%となっている。

<図表3-2-7-1 浪江町へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由>



### 3-2-8 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じる支援

【問9-6で「1.すぐに戻りたい」と回答した方にかがいます。】

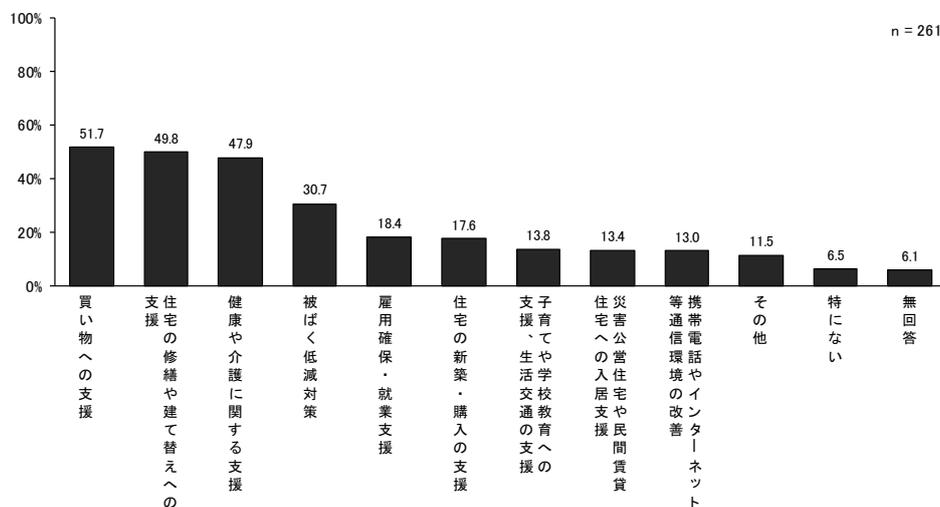
問9-7 浪江町に戻る場合に、同封資料を見て不足していると感じるものを教えてください。

(〇はいくつでも)

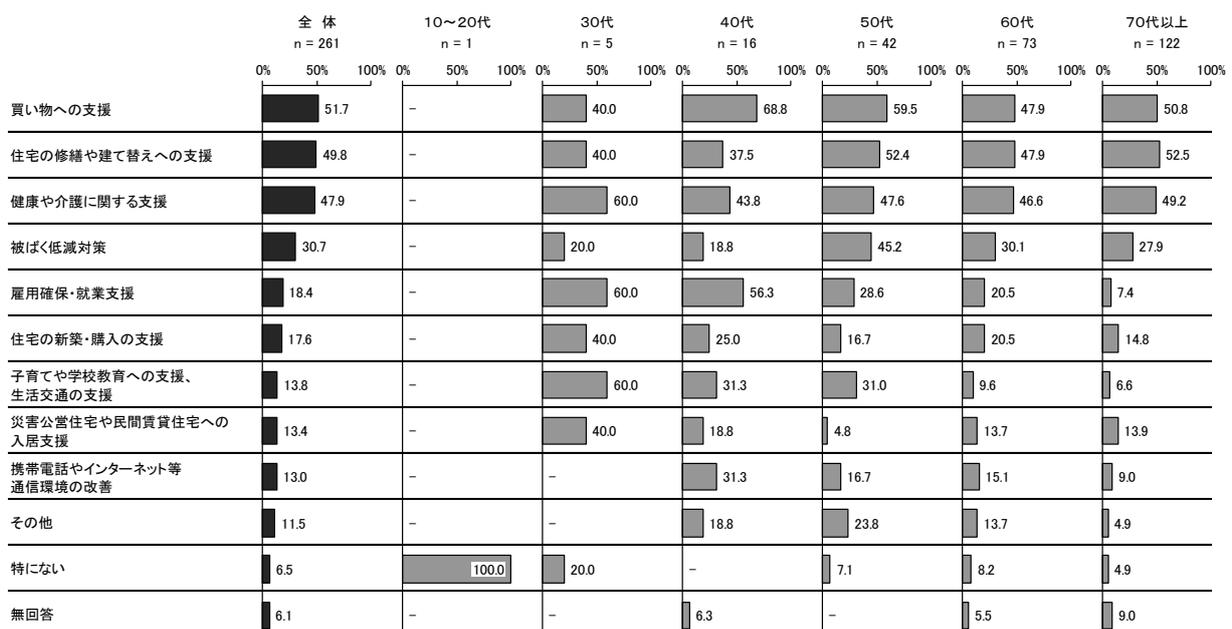
浪江町へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援については、「買い物への支援」が51.7%と最も高く、次いで「住宅の修繕や建て替えへの支援」が49.8%、「健康や介護に関する支援」が47.9%となっている。

回答者の年齢別にみると、50代では「被ばく低減対策」(45.2%)、「雇用確保・就業支援」(28.6%)、「子育てや学校教育への支援、生活交通の支援」(31.0%)が全体の割合に比べ高くなっている。

＜図表3-2-8-1 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じる支援＞

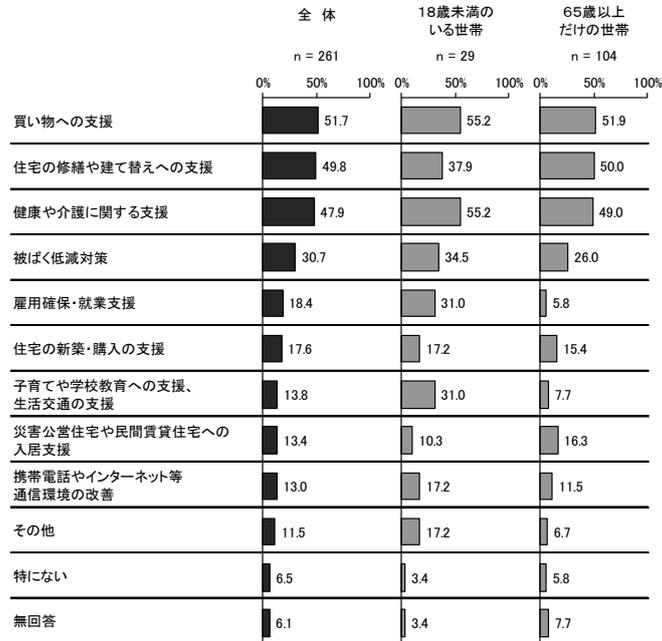


＜図表3-2-8-2 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じる支援（年齢別）＞



世帯構成別にみると、18歳未満のいる世帯では「健康や介護に関する支援」(55.2%)、「雇用確保・就業支援」(31.0%)、「子育てや学校教育への支援、生活交通の支援」(31.0%)が全体の割合に比べ高くなっている。

<図表3-2-8-3 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じる支援(世帯構成別)>



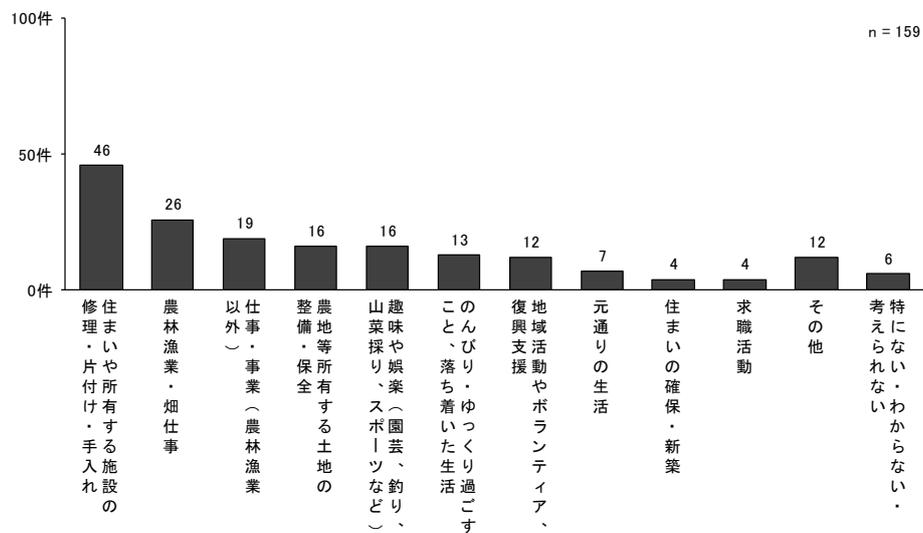
### 3-2-9 浪江町へ帰還する場合にすぐにでもやりたいこと

【問9-6で「1.すぐに戻りたい」と回答した方にかがいます。】

問9-8 浪江町に戻ったら、すぐにでもやりたいことを教えてください。(自由記載)

浪江町へ帰還する場合にすぐにでもやりたいことについて、159 世帯から回答があり、分類の結果、「住まいや所有する施設の修理・片付け・手入れ」が46件と最も多く、次いで「農林漁業・畑仕事」が26件、「仕事・事業（農林漁業以外）」が19件などとなっている。

＜図表3-2-9-1 浪江町帰還する場合にすぐにでもやりたいことの種類結果＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【住まいや所有する施設の修理・片付け・手入れ】

- 家と家財の手入れ。(40代)
- リフォームをやりたい。修繕をやりたい（現在、建物の除染が終わっていない）。(50代)。
- 自宅と店が一緒になっているので、まず自宅そしてお店の片付け。(60代)

#### 【農林漁業・畑仕事】

- 農業の再開、事業拡大。(50代)
- 除染後再測定してもらって、基準以下なら野菜や米を作る。(70代以上)
- 米作りをやりたい。(60代)

#### 【仕事・事業（農林漁業以外）】

- 自営業の再開。(50代)
- 仮設商業施設で飲食店を出店。(60代)
- 工場を作って、建具業をしたいです。(60代)

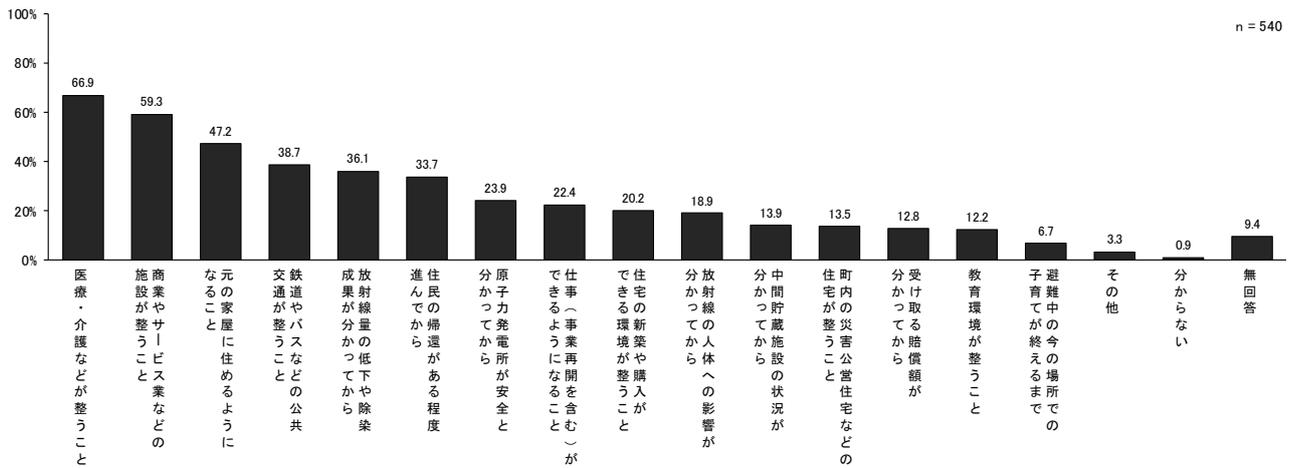
### 3-2-10 浪江町へいずれ戻りたい場合の帰還時期を判断する条件

【問9-6で「2」から「5」と回答した方にうかがいます。】

問9-9 同封資料を見て戻る時期を判断する条件を教えてください。(〇はいくつでも)

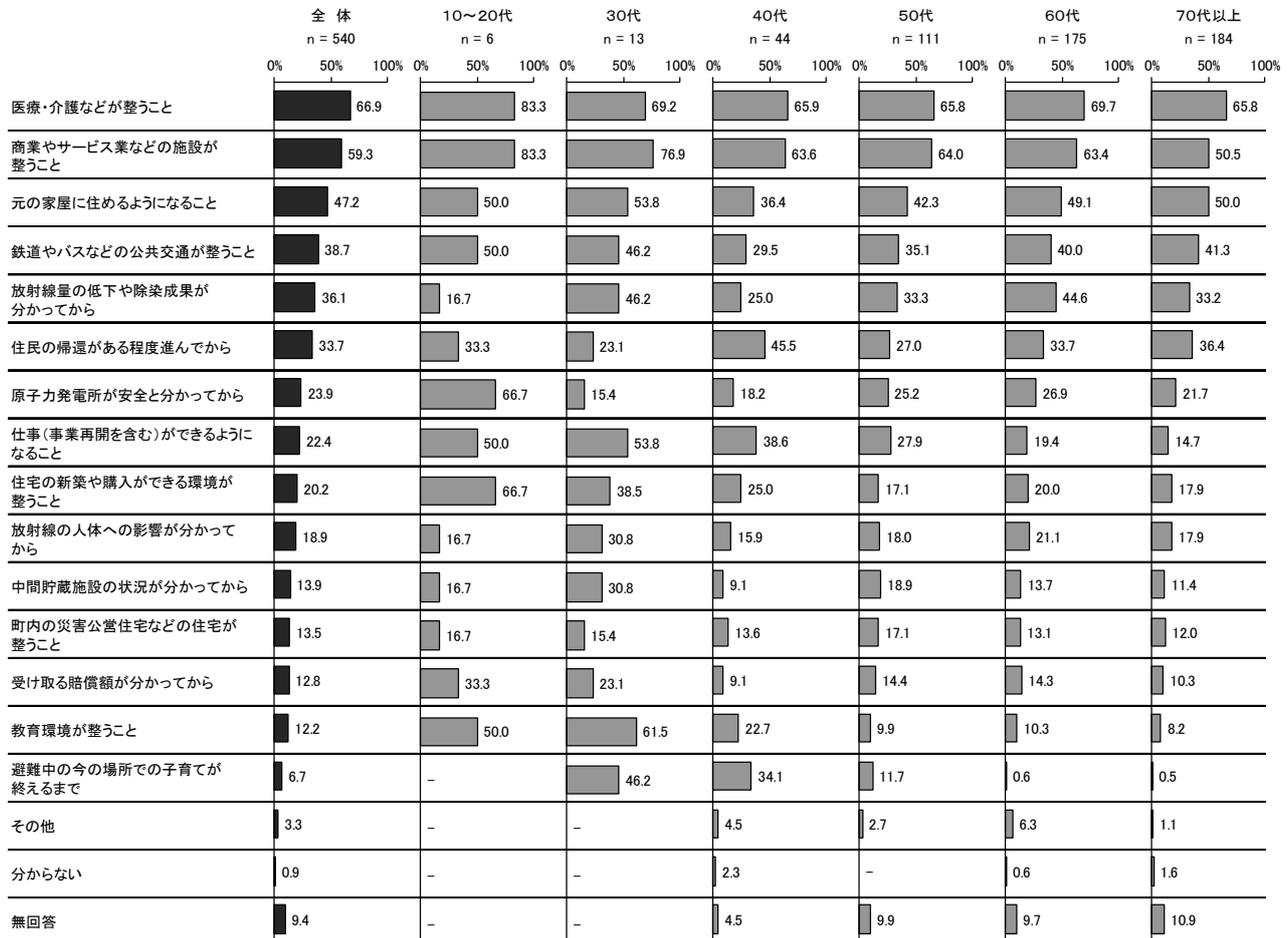
浪江町へいずれ戻りたい場合の帰還時期を判断する条件については、「医療・介護などが整うこと」が66.9%と最も高く、次いで「商業やサービス業などの施設が整うこと」が59.3%、「元の家屋に住めるようになること」が47.2%となっている。

<図表3-2-10-1 浪江町へいずれ戻りたい場合の帰還時期を判断する条件>



回答者の年齢別にみると、「元の家屋に住めるようになること」は60代(49.1%)、70代以上(50.0%)が他の年齢に比べ高くなっている。また、40代では「住民の帰還がある程度進んでから」(45.5%)、「仕事(事業再開を含む)ができるようになること」(38.6%)が他の年齢に比べ高くなっている。

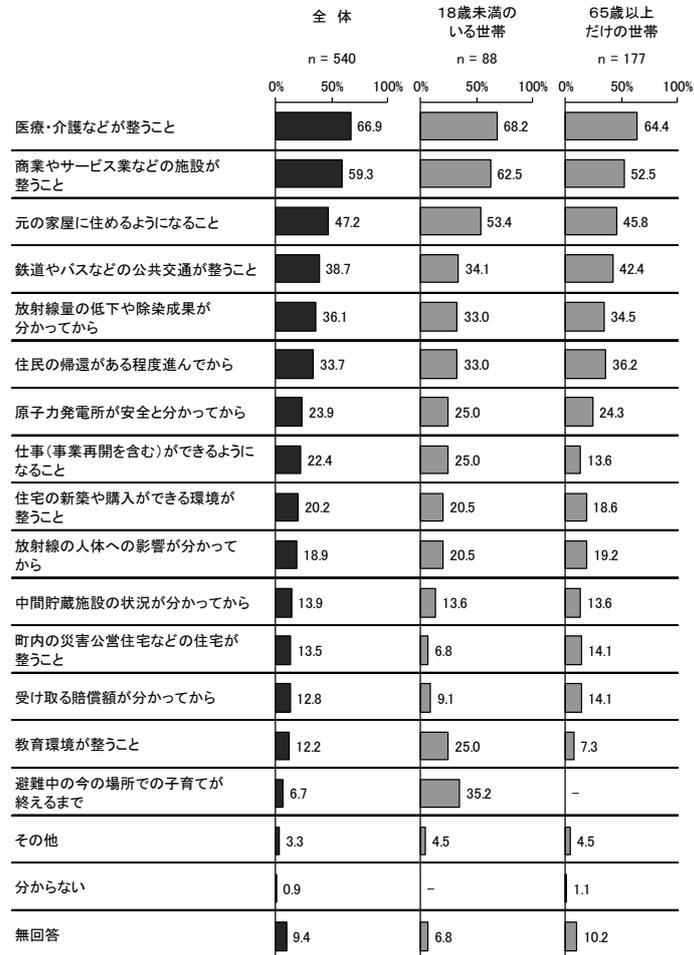
<図表3-2-10-2 浪江町へいずれ戻りたい場合の帰還時期を判断する条件(年齢別)>



### III 調査結果

世帯構成別にみると、65歳以上の世帯は「鉄道やバス等の公共交通が整うこと」(42.4%)が全体の割合に比べ高くなっている。一方、18歳未満のいる世帯では「元の家屋に住めるようになること」(53.4%)、「教育環境が整うこと」(25.0%)、「避難中の今の場所での子育てが終えるまで」(35.2%)が全体の割合に比べ高くなっている。

<図表3-2-10-3 浪江町へいずれ戻りたい場合の帰還時期を判断する条件（世帯構成別）>



### 3-2-11 浪江町への帰還を判断する上で必要と思う情報

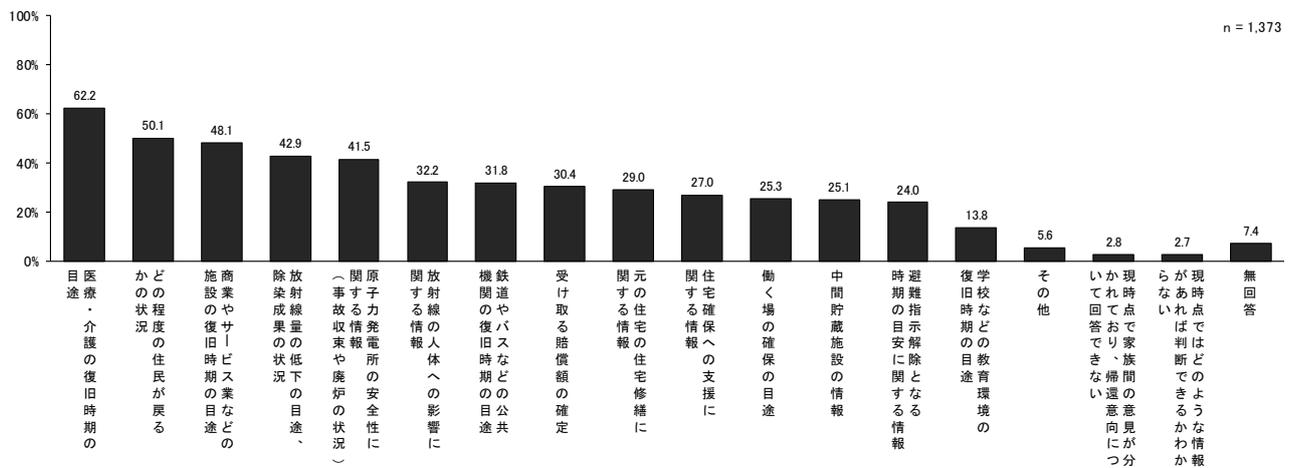
【問9で「2.まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問9-10 同封資料を見て浪江町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。

(〇はいくつでも)

浪江町への帰還を判断する上で必要と思う情報については、「医療・介護の復旧時期の目途」が62.2%と最も高く、次いで、「どの程度の住民が戻るかの状況」が50.1%、「商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途」が48.1%となっている。

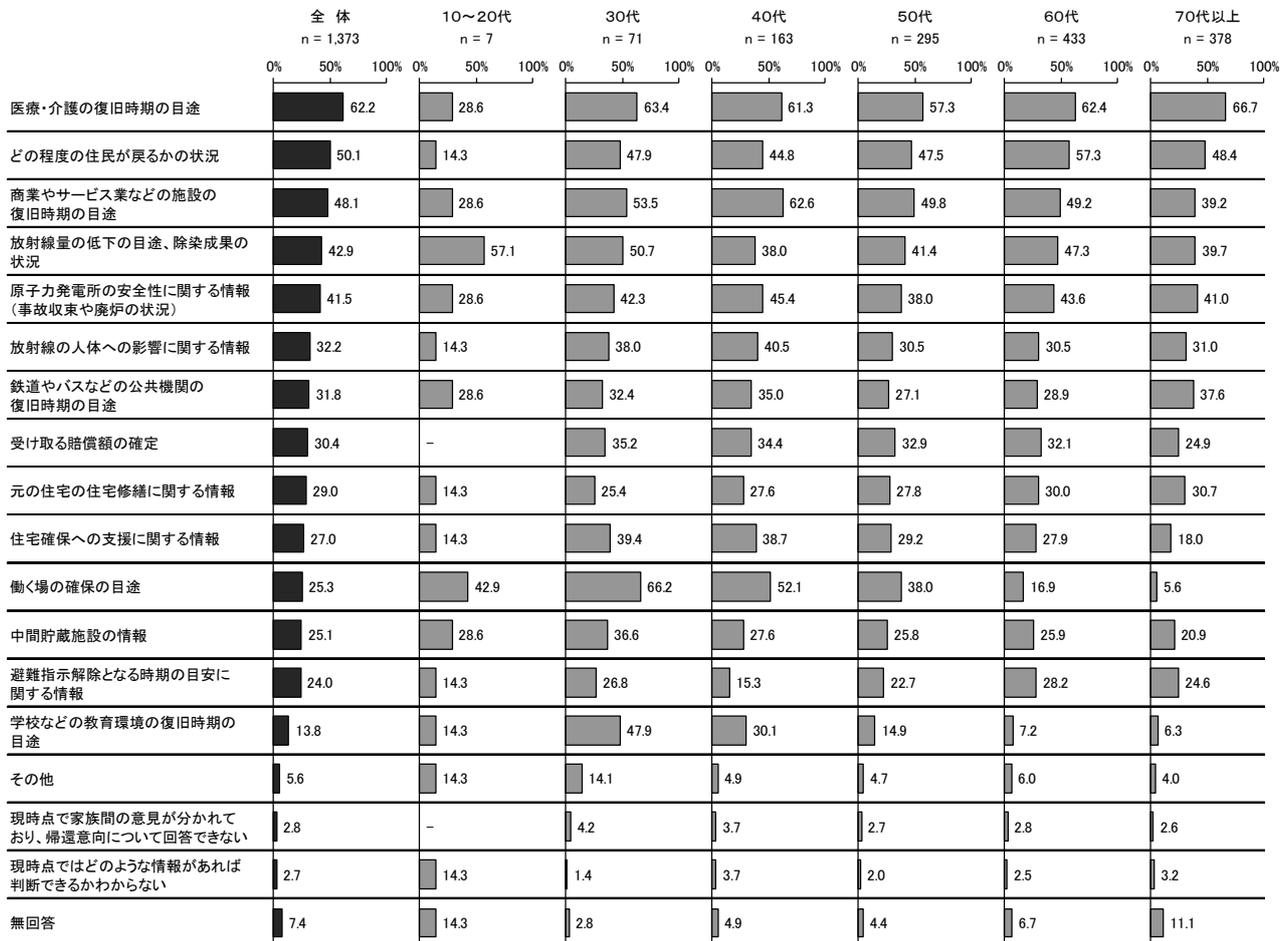
＜図表3-2-11-1 浪江町への帰還を判断する上で必要と思う情報＞



### III 調査結果

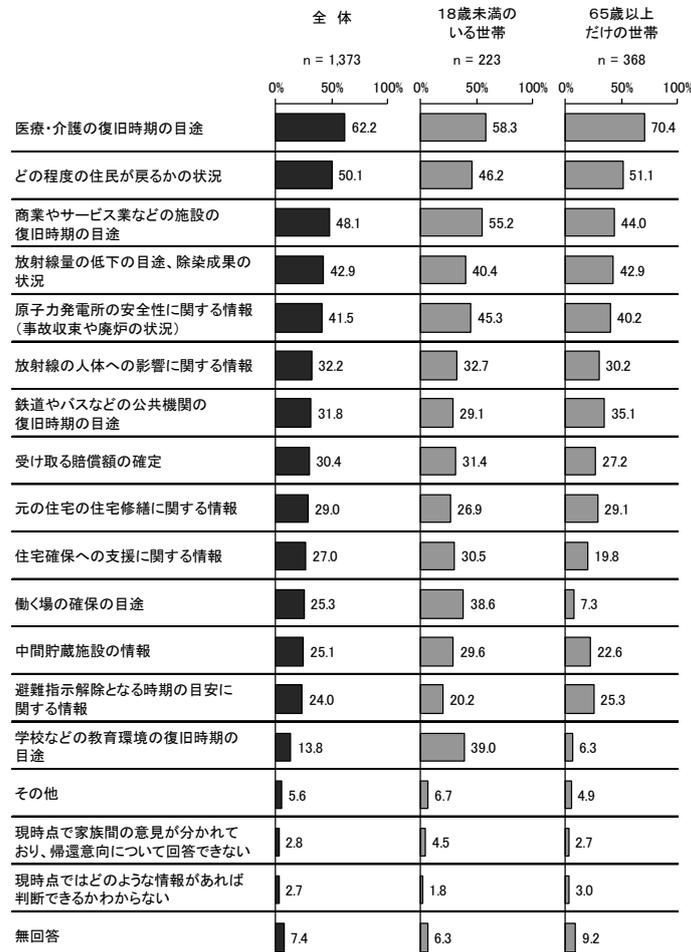
回答者の年齢別にみると、「どの程度の住民が戻るかの状況」は60代(57.3%)、「商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途」は40代(62.6%)、「働く場の確保の目途」は30代(66.2%)、40代(52.1%)、50代(38.0%)、「学校などの教育環境の復旧時期の目途」は30代(47.9%)、40代(30.1%)で高くなっている。

<図表3-2-11-2 浪江町への帰還を判断する上で必要と思う情報(年齢別)>



世帯構成別にみると、65歳以上だけの世帯では「医療・介護の復旧時期の目途」(70.4%)が高くなっている。一方、18歳未満のいる世帯では「商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途」(55.2%)、「働く場所の確保の目途」(38.6%)、「学校などの教育環境の復旧時期の目途」(39.0%)が全体の割合に比べ高い。

<図表3-2-11-3 浪江町への帰還を判断する上で必要と思う情報(世帯構成別)>



### 3-2-12 現時点で戻らないと決めている理由

【問9で「3.戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

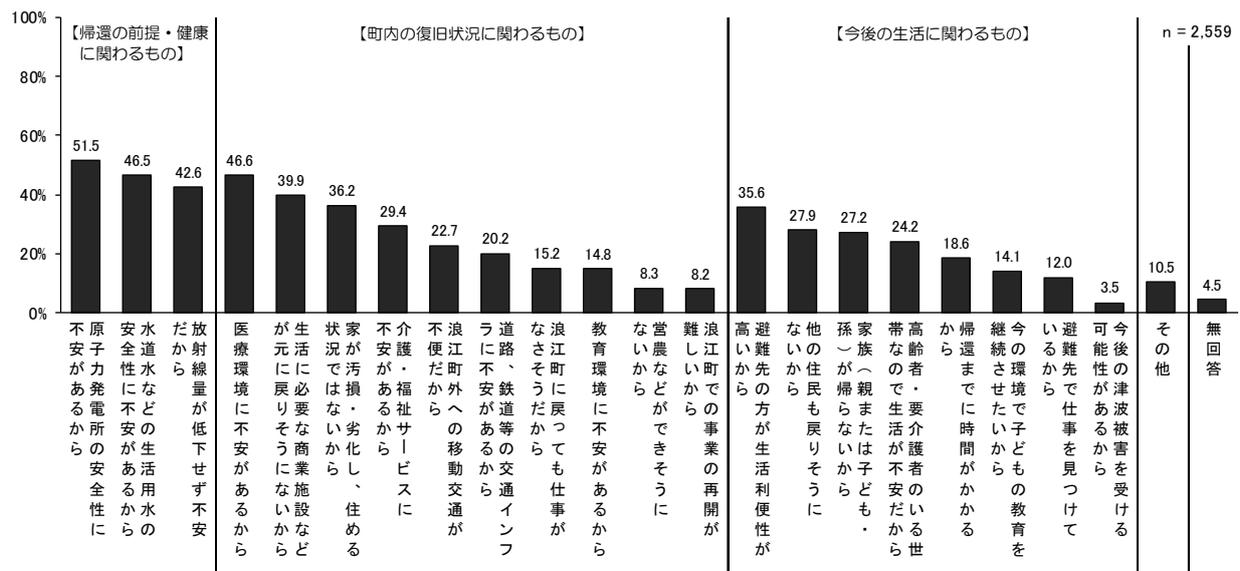
問9-11 同封資料を見て現時点で戻らないと決めている理由を教えてください。(〇はいくつでも)

現時点で戻らないと決めている理由について、【帰還の前提・健康に関わるもの】では、「原子力発電所の安全性に不安があるから」が51.5%と最も高く、次いで「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」が46.5%、「放射線量が低下せず不安だから」が42.6%となっている。

【浪江町内の復旧状況に関わるもの】では、「医療環境に不安があるから」が46.6%と最も高く、次いで「生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから」が39.9%、「家が汚損・劣化し、住める状況ではないから」が36.2%となっている。

【今後の生活に関わるもの】では、「避難先の方が生活利便性が高いから」が35.6%と最も高く、次いで「他の住民も戻りそうにないから」が27.9%、「家族（親または子ども・孫）が帰らないから」が27.2%となっている。

<図表3-2-12-1 現時点で戻らないと決めている理由>

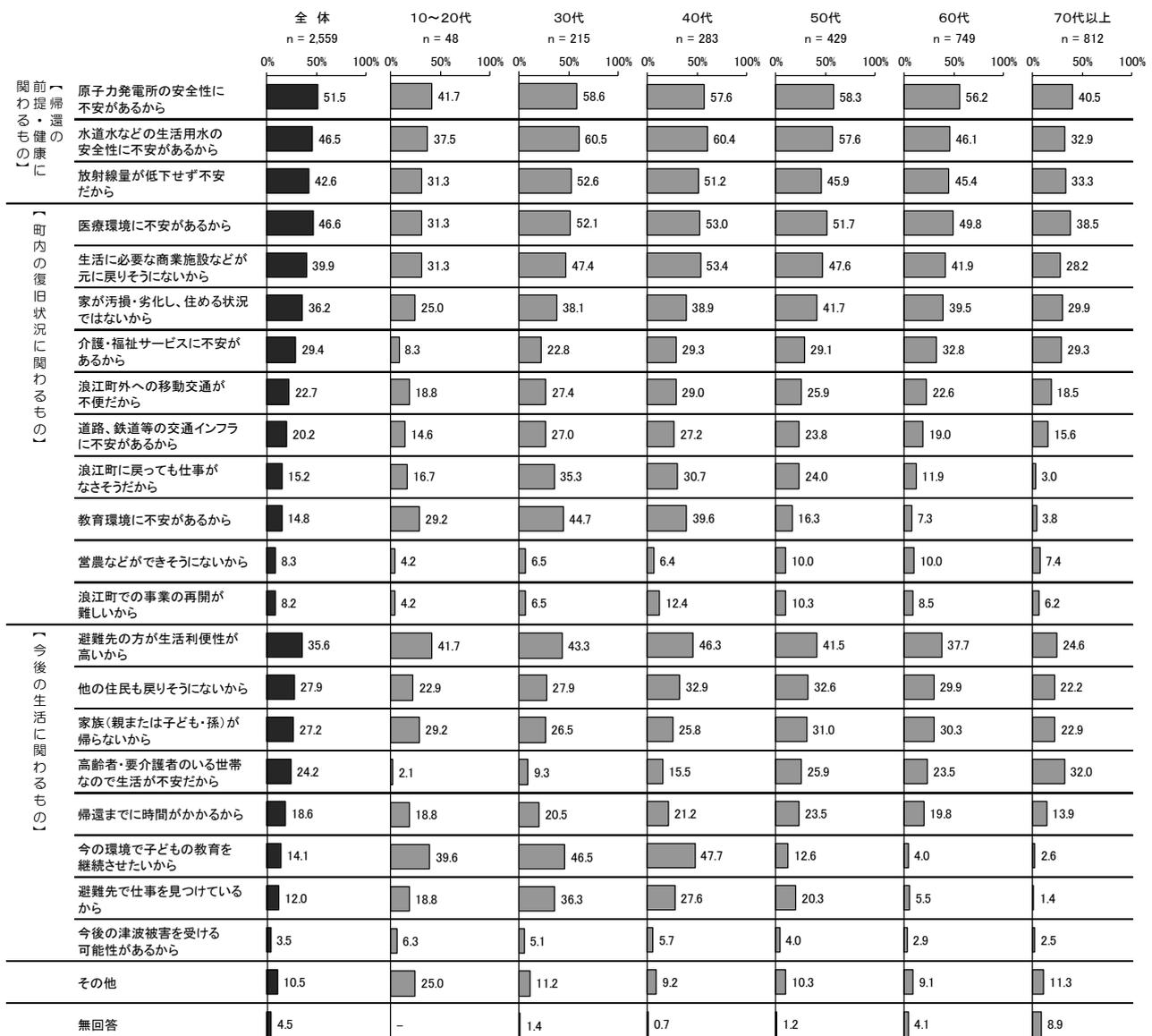


回答者の年齢別にみると、【帰還の前提・健康に関わるもの】では、「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」は、30代（60.5%）、40代（60.4%）で6割を超えており、他の年齢と比べ高くなっている。

【浪江町内の復旧状況に関わるもの】では、「生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから」は、40代（53.4%）、「浪江町に戻っても仕事になさそうだから」は、30代（35.3%）、40代（30.7%）、「教育環境に不安があるから」は10～20代（29.2%）、30代（44.7%）、40代（39.6%）で他の年齢と比べ高くなっている。

【今後の生活に関わるもの】では、「高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから」は、50代（25.9%）、60代（23.5%）、70代以上（32.0%）、「今の環境で子どもの教育を継続させたいから」は、10～20代（39.6%）30代（46.5%）、40代（47.7%）、「避難先で仕事を見つけているから」は、30代（36.3%）、40代（27.6%）で他の年齢と比べ高くなっている。

<図表3-2-12-2 現時点で戻らないと決めている理由（年齢別）>



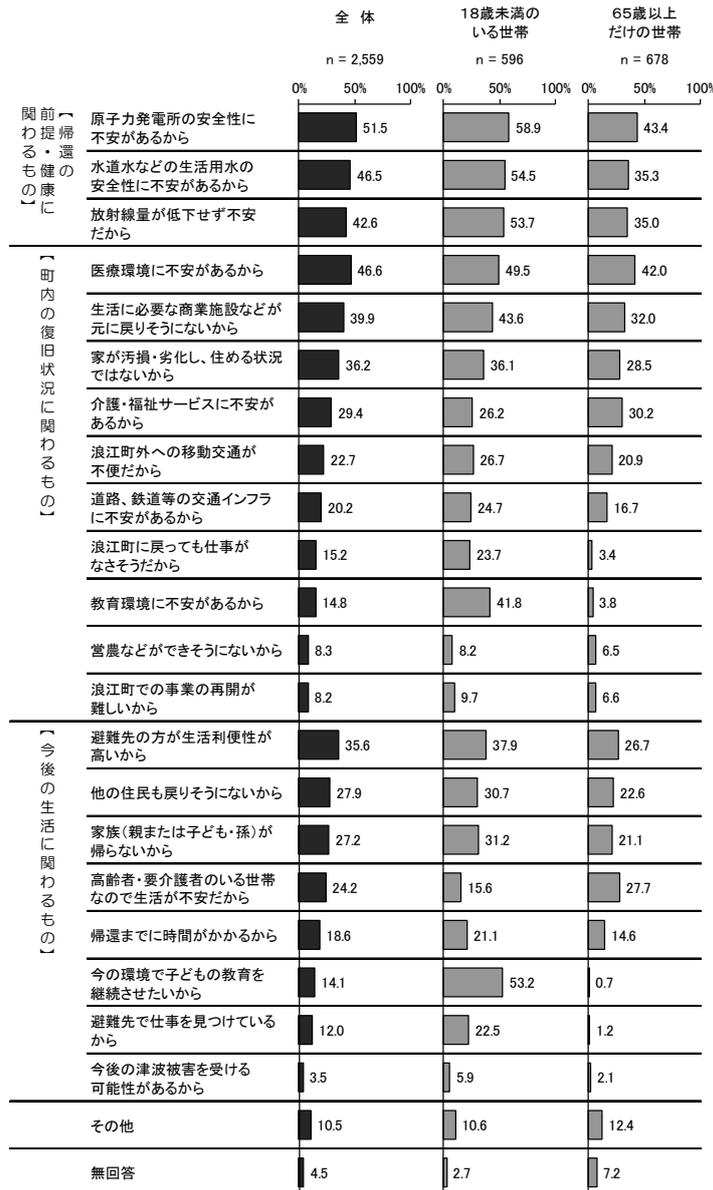
### III 調査結果

世帯構成別にみると、【帰還の前提・健康に関わるもの】では、「原子力発電所の安全性に不安があるから」、「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」、「放射線量が低下せず不安だから」について、18歳未満のいる世帯は5割以上であり、全体の割合と比べ高くなっている。

【浪江町内の復旧状況に関わるもの】では、18歳未満のいる世帯で「教育環境に不安があるから」(41.8%)が、全体の割合と比べ高くなっている。

【今後の生活に関わるもの】では、18歳未満のいる世帯で「今の環境で子どもの教育を継続させたいから」(53.2%)、「避難先で仕事を見つけているから」(22.5%)が、全体の割合と比べ高くなっている。

<図表3-2-12-3 現時点で戻らないと決めている理由（世帯構成別）>



### 3-2-13 浪江町へ帰還するうえで必要な職業

#### (1) 職業（就業形態）

【問9-11で「4」から「6」と回答した方にうかがいます。】

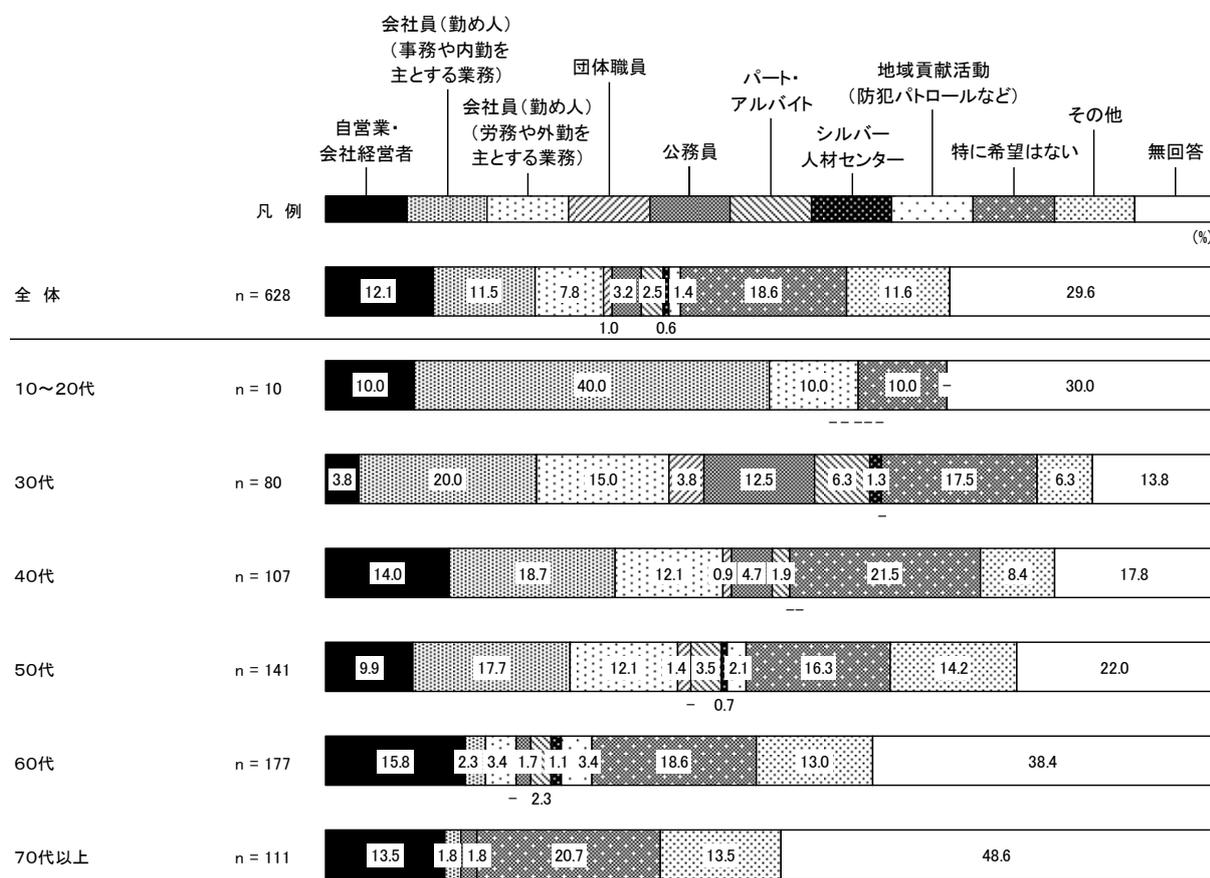
問9-12 町内でどのような職種に就くことができれば、浪江町に戻りたいと思いますか。

(1) 職業（就業形態）(〇は1つ)

浪江町へ帰還するうえで必要な職業（就業形態）については、「自営業・会社経営者」が12.1%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が11.5%、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が7.8%となっている。また、「特に希望はない」は18.6%となっている。

回答者の年齢別にみると、30代では、「公務員」（12.5%）、「パート・アルバイト」（6.3%）が他の年齢に比べ高くなっている。

<図表3-2-13-1 浪江町へ帰還するうえで必要な職業（年齢別）>



(2) 業種

【問9-11で「4」から「6」と回答した方にうかがいます。】

問9-12 町内でどのような職種に就くことができれば、浪江町に戻りたいと思いますか。

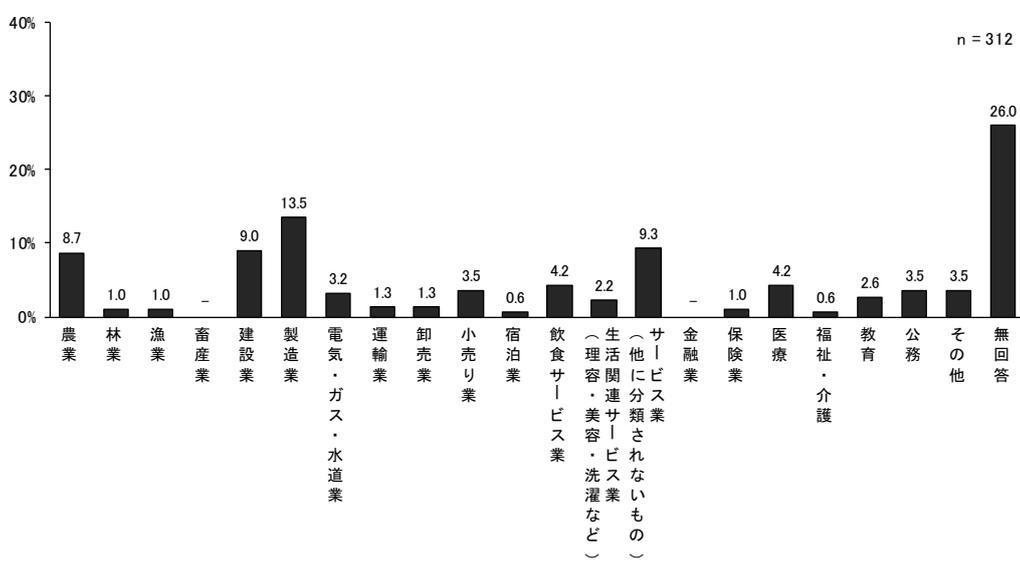
【問9-12(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方にうかがいます。】

(2) 業種 (〇は1つ)

浪江町へ帰還するうえで必要な業種については、「製造業」が13.5%と最も高く、次いで「サービス業（他に分類されないもの）」が9.3%、「建設業」が9.0%となっている。

回答者の年齢別にみると、「農業」は、60代（19.1%）、70代以上（23.5%）が2割前後と高くなっている。「建設業」は、50代（12.0%）、60代（10.3%）が1割以上と高くなっている。

<図表3-2-13-2 浪江町へ帰還するうえで必要な業種>



<図表3-2-13-3 浪江町へ帰還するうえで必要な業種 (年齢別)>

	農業	林業	漁業	畜産業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食サービス業	生活関連サービス業 (理容・美容・洗濯など)	サービス業 (他に分類されないもの)	金融業	保険業	医療	福祉・介護	教育	公務	その他	無回答	
全体	8.7	1.0	1.0	-	9.0	13.5	3.2	1.3	1.3	3.5	0.6	4.2	2.2	9.3	-	1.0	4.2	0.6	2.6	3.5	3.5	26.0	
10~20代	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	-	33.3
30代	-	-	-	-	9.3	16.7	7.4	-	-	1.9	-	3.7	1.5	9.3	-	1.9	7.4	1.9	3.7	7.4	1.9	25.9	
40代	3.1	-	1.5	-	4.6	16.9	6.2	1.5	-	6.2	-	6.2	3.1	9.2	-	-	6.2	-	3.1	3.1	1.5	27.7	
50代	3.6	1.2	1.2	-	12.0	16.9	2.4	2.4	-	3.6	2.4	1.2	2.4	9.6	-	1.2	1.2	1.2	2.4	2.4	6.0	26.5	
60代	19.1	1.5	1.5	-	10.3	5.9	-	1.5	2.9	4.4	-	7.4	1.5	8.8	-	1.5	2.9	-	1.5	1.5	1.5	26.5	
70代以上	23.5	2.9	-	-	8.8	8.8	-	-	5.9	-	-	-	2.9	8.8	-	-	-	-	2.9	5.9	8.8	20.6	

### 3-2-14 帰還しない場合に居住を希望する自治体

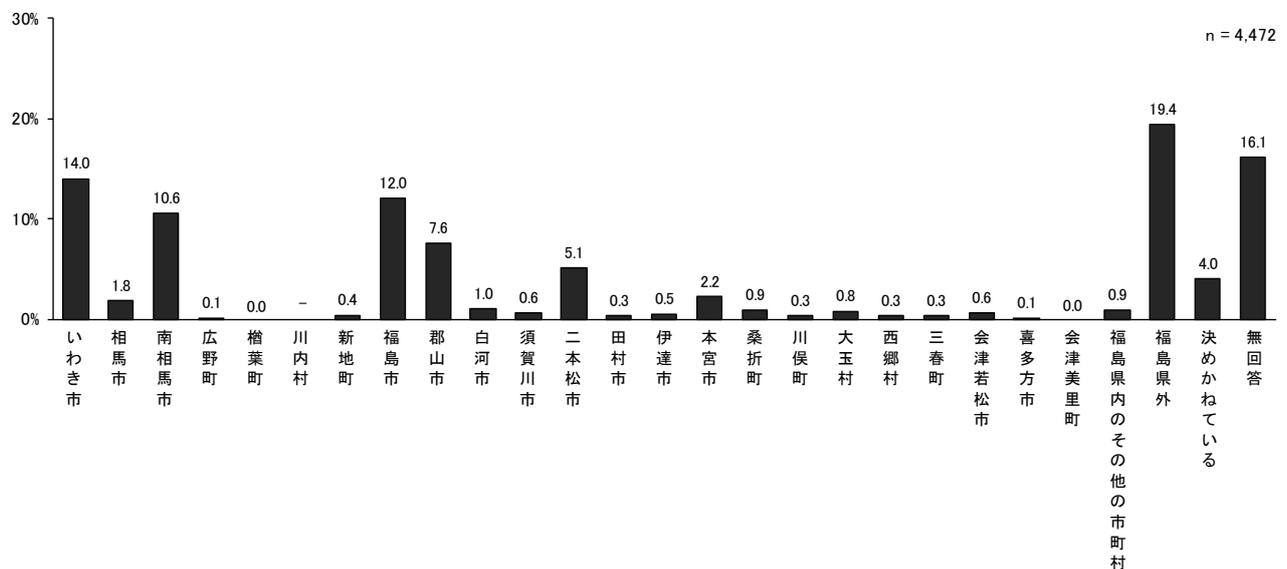
【問9で「2.まだ判断がつかない」「3.戻らないと決めている」、問9-6で「2」から「5」と回答した方にうかがいます。】

問9-13 帰還しない場合または帰還するまでの間、今後、居住を希望する市町村（現在のお住まいのままの方は現在の市町村）はどちらですか。その市町村を教えてください。（〇は1つ）

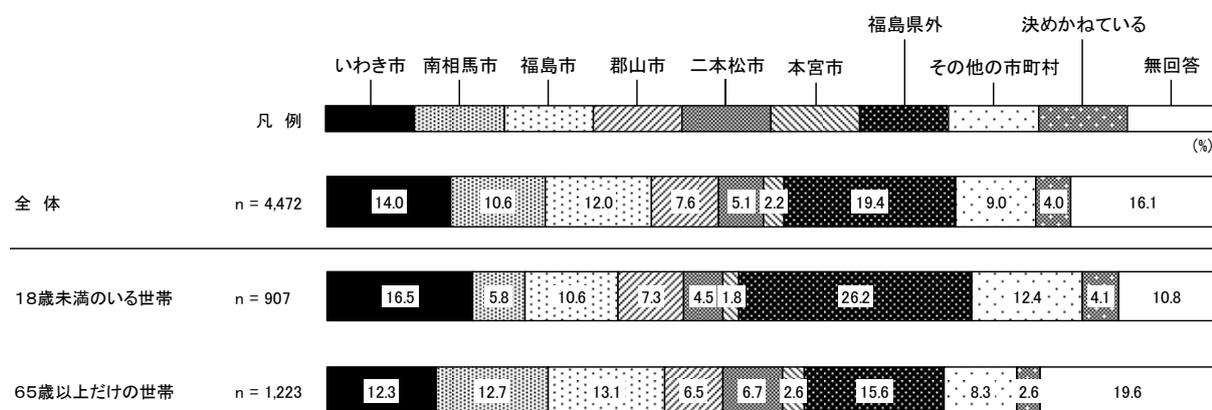
帰還しない場合に居住したい自治体については、「福島県外」が19.4%と最も高く、次いで「いわき市」が14.0%、「福島市」が12.0%となっている。

世帯構成別にみると、「福島県外」は18歳未満のいる世帯で26.2%と、全体の割合と比べ高くなっている。

<図表3-2-14-1 帰還しない場合に居住を希望する自治体>



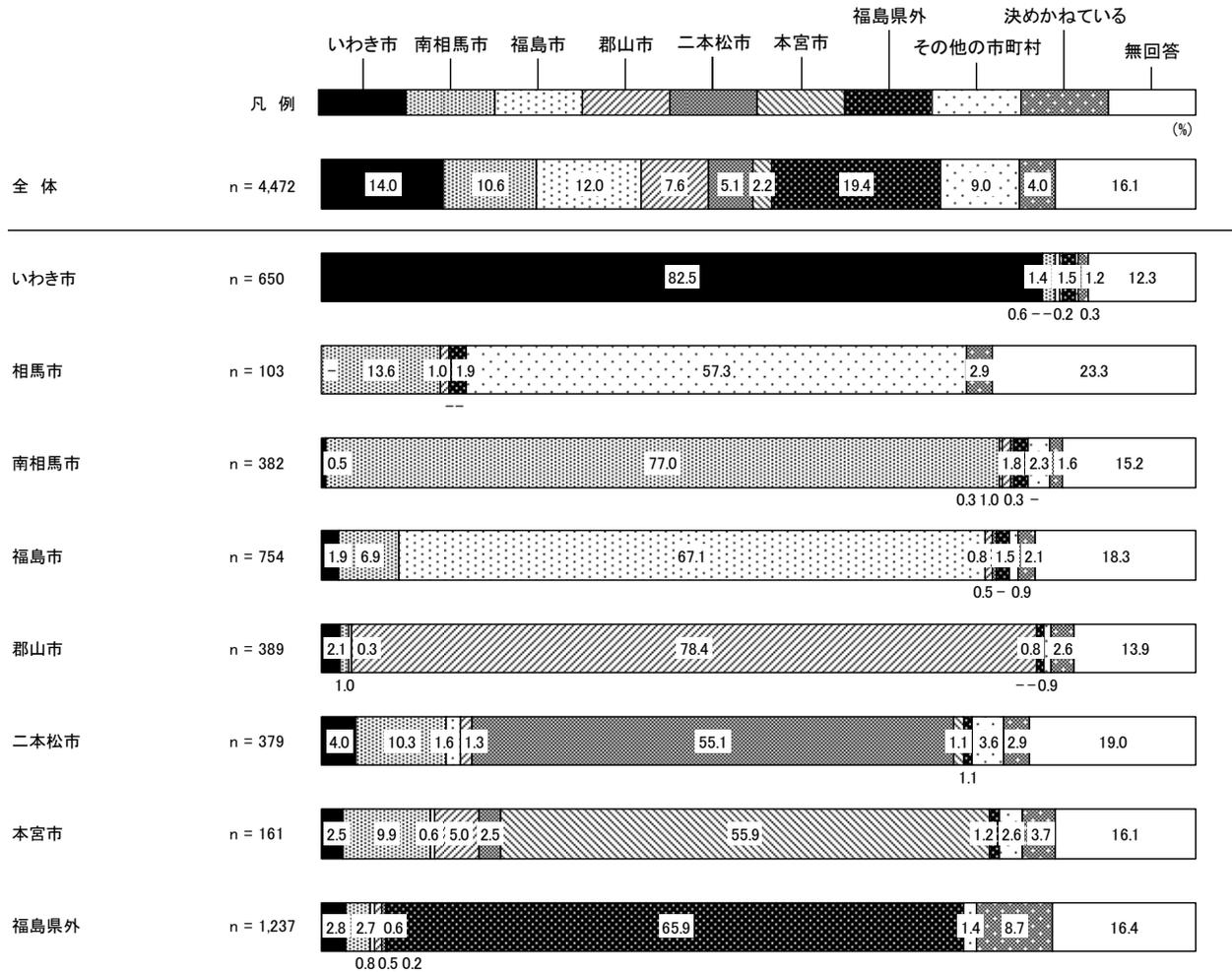
<図表3-2-14-2 帰還しない場合に居住を希望する自治体（世帯構成別）>



### III 調査結果

現在の主な避難先自治体別にみると、いずれの自治体も避難先での居住を希望する割合が最も高いが、いわき市に避難している世帯の82.5%が同じ「いわき市」、南相馬市に避難している世帯の77.0%が同じ「南相馬市」、郡山市に避難している世帯の78.4%が同じ「郡山市」での居住を希望しており、他の避難先自治体と比べ、避難先自治体に継続して居住を希望する割合が高い。

<図表3-2-14-3 帰還しない場合に居住を希望する自治体（主な避難先自治体別）>



### 3-2-15 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

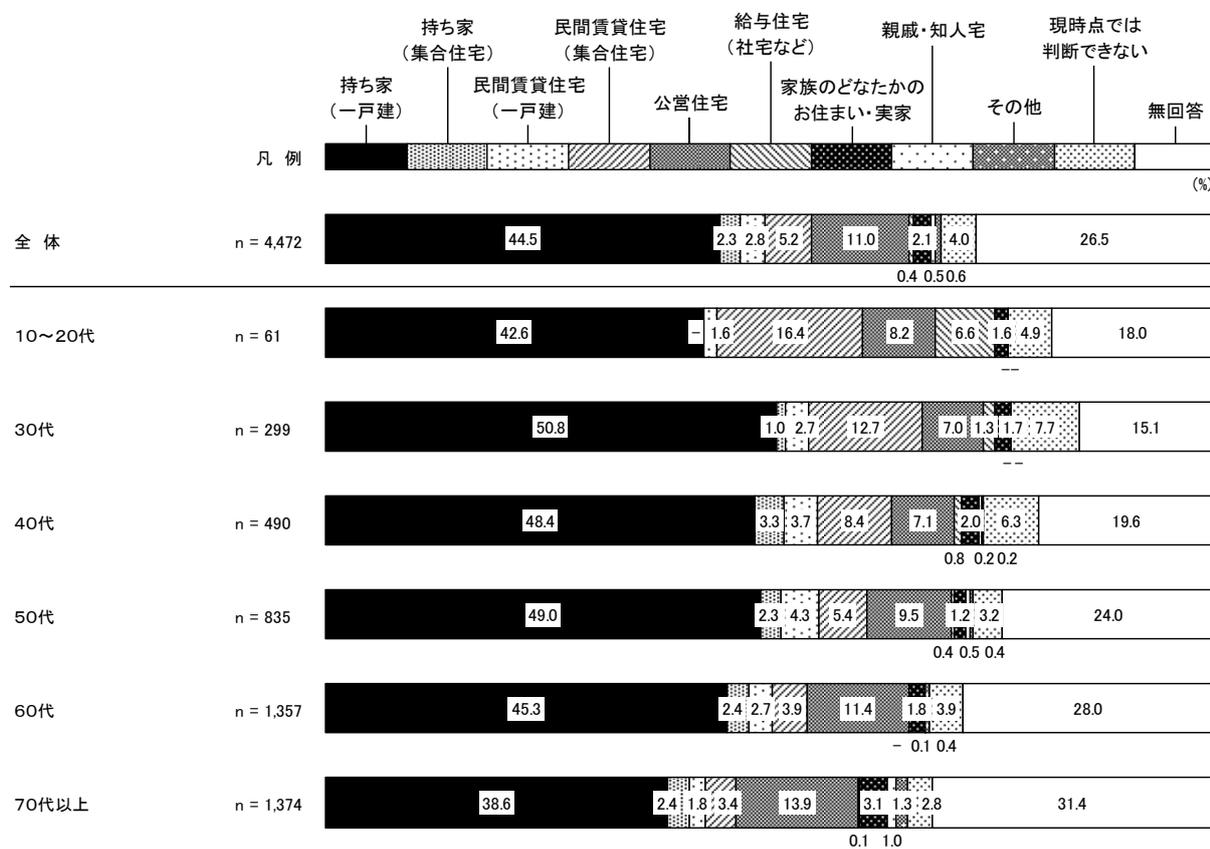
【問9で「2.まだ判断がつかない」「3.戻らないと決めている」、問9-6で「2」から「5」と回答した方にうかがいます。】

問9-14 帰還しない場合または帰還するまでの間、今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

浪江町へ帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」が44.5%と最も高く、次いで「公営住宅」が11.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が5.2%となっている。

回答者の年齢別にみると、「民間賃貸住宅（集合住宅）」は若年層で高く、10~20代が16.4%、30代が12.7%となっている。一方、「公営住宅」は高齢層で高く、60代が11.4%、70代以上が13.9%となっている。

<図表3-2-15-1 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（年齢別）>



### 3-2-16 帰還しない場合に必要な支援

#### (1) 浪江町との関係

【問9で「2.まだ判断がつかない」「3.戻らないと決めている」、問9-6で「2」から「5」と回答した方にうかがいます。】

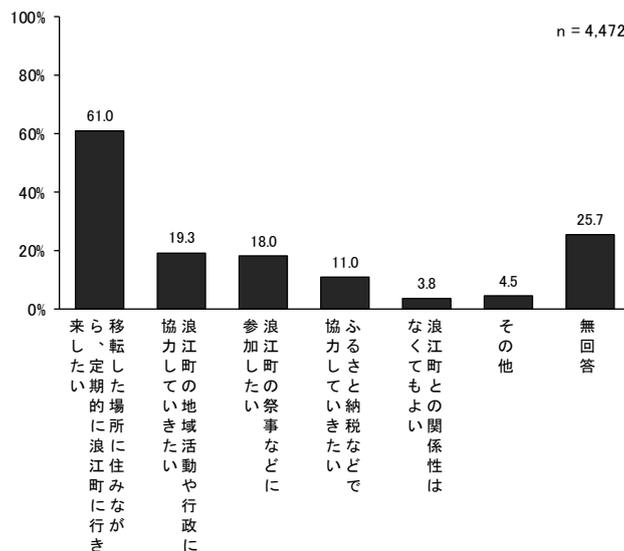
問9-15 帰還しない場合または帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係 (〇はいくつでも)

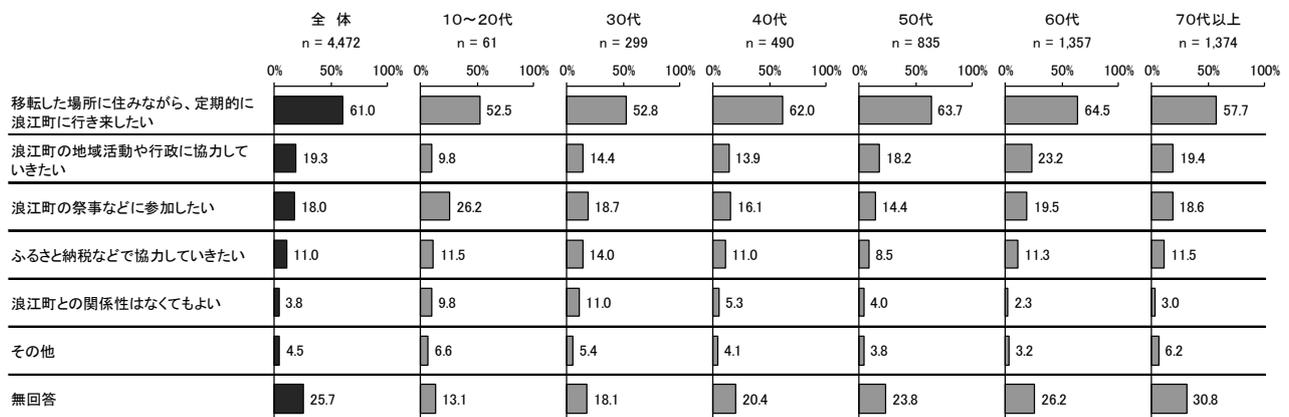
帰還しない場合の浪江町との関係については、「移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい」が61.0%と最も高く、次いで「浪江町の地域活動や行政に協力していきたい」が19.3%、「浪江町の祭事などに参加したい」が18.0%となっている。

回答者の年齢別にみると、「移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい」は、すべての年齢で高くなっている。「浪江町の祭事などに参加したい」は、10～20代が26.2%と、他の年齢に比べ高くなっている。

<図表3-2-16-1 浪江町との関係>



<図表3-2-16-2 浪江町との関係(年齢別)>



(2) 必要な支援

【問9で「2.まだ判断がつかない」「3.戻らないと決めている」、問9-6で「2」から「5」と回答した方にうかがいます。】

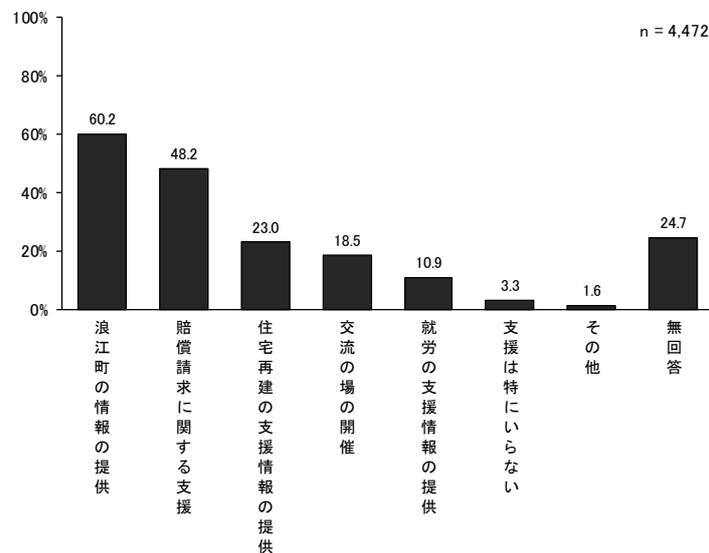
問9-15 帰還しない場合または帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 必要な支援 (〇はいくつでも)

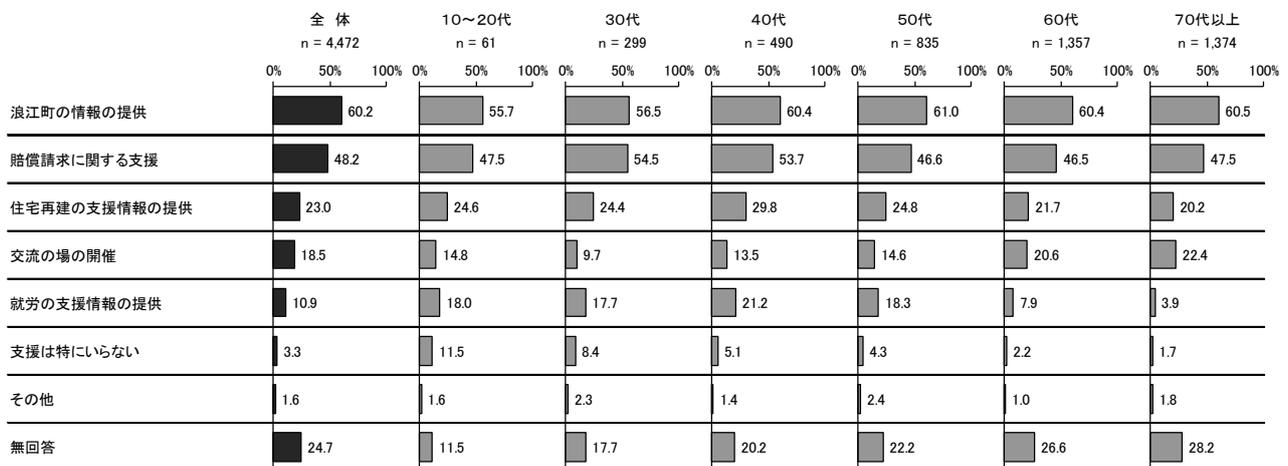
帰還しない場合に必要な支援については、「浪江町の情報の提供」が60.2%と最も高く、次いで「賠償請求に関する支援」が48.2%、「住宅再建の支援情報の提供」が23.0%となっている。

回答者の年齢別にみると、「賠償請求に関する支援」は、30代(54.5%)、40代(53.7%)で5割を超え高くなっている。「交流の場の開催」は、60代(20.6%)、70代以上(22.4%)で2割以上となっている。

<図表3-2-16-3 必要な支援>



<図表3-2-16-4 必要な支援(年齢別)>



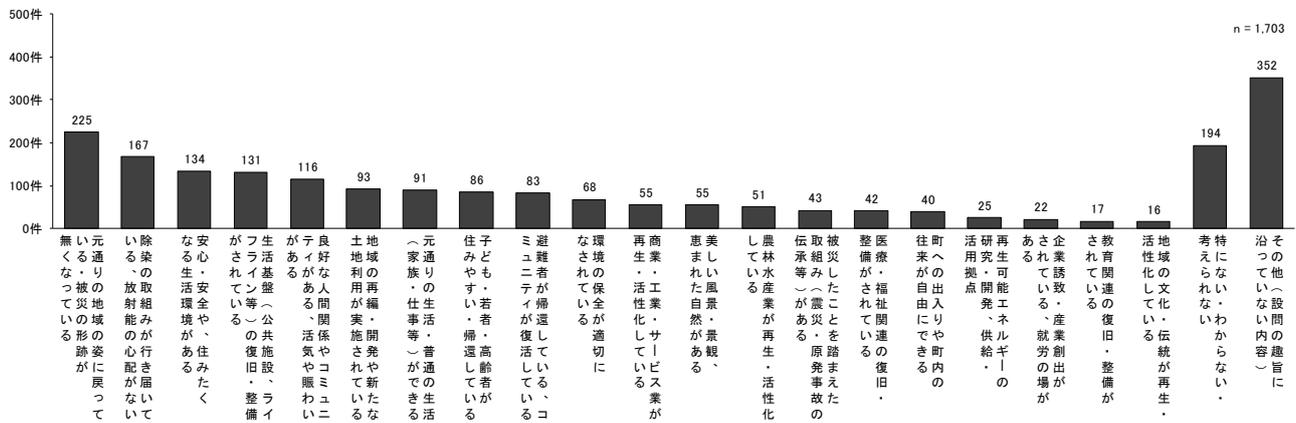
### 3-2-17 震災発生当時の居住地に望む将来の姿

問9-16 震災前に浪江町でお住まいだった地区について、将来、望む姿について教えてください。  
(自由記載)

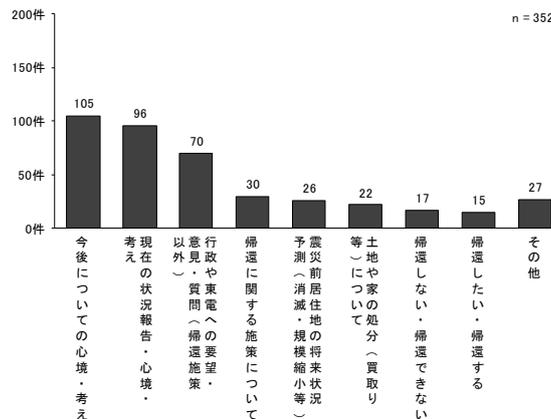
震災発生当時の居住地に望む将来の姿について、1,703 世帯から回答があり、分類の結果、「元通りの地域の姿に戻っている・被災の形跡が無くなっている」が 225 件と最も多く、次いで「除染の取組みが行き届いている、放射能の心配がない」が 167 件、「安心・安全や、住みたくなる生活環境がある」が 134 件などとなっている。

なお、分類の結果、設問の趣旨に沿っていない内容である「その他」が 352 件と多くなったため、「その他」の内容を再分類した。「今後についての心境・考え」が 105 件と最も多く、次いで「現在の状況報告・心境・考え」が 96 件、「行政や東電への要望・意見・質問（帰還施策以外）」が 70 件などとなっている。

<図表3-2-17-1 震災発生当時の居住地に望む将来の姿の分類結果>



<図表3-2-17-2 震災発生当時の居住地に望む将来の姿の分類結果（その他の再分類）>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【元通りの地域の姿に戻っている・被災の形跡が無くなっている】

- 震災前と同じ状態に戻ってほしい。(10～20代)
- 破損した家を街並みから早くなくして、解体してほしい。復興がまだ続いているような気持ちになる。更地の方がまだ良いと思う。(60代)
- 元の姿には戻れないと思うが、それに近いような「形」にしてほしい。(70代以上)

【除染の取組みが行き届いている、放射能の心配がない】

- 全てを除染して震災前の放射線レベルに戻してほしい。(30代)
- 放射量、飲み水等の心配が全く心配のない町。(50代)
- 山や水田、畑等すべての除染を済ませ山菜やキノコが自由に食べられる事を願う。(70代以上)

【安心・安全や、住みたくなる生活環境がある】

- 元の浪江町の様に住みやすく、更に利便性が良くなれば良いと思う。(30代)
- きちんと整備された安全な地区になってほしい。(40代)
- 人口が2割程度になったとしても、便利で環境が良く、誰もが幸せそうに暮している町であってほしい。新しい日本のモデルの町を目指してほしい。(70代以上)